

九州文化史研究所：『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

梶嶋，政司
九州大学附属図書館記録資料館

<https://doi.org/10.15017/7325058>

出版情報：九州文化史研究所紀要. 67, pp.159-276, 2024-03-29. Manuscript Library, Historical Records Section, Kyushu University

バージョン：

権利関係：



九州文化史研究所

『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

梶 嶋 政 司

はじめに——昭和十年代の九州文化史研究所——

本稿は、昭和十四（一九三九）年四月から同十九（一九四四）年二月までの間に記載された九州文化史研究所の事務日誌を紹介するものである。

九州文化史研究所（以下、九州文化史と略記する）は、九州地域の文化史的史料の収集と研究を目的として、昭和九年（一九三四）に九州帝国大学法文学部内に設置された研究機関である。同研究所の発足に至る経緯については、九大総長松浦鎮次郎が、本部経費より年間千円の史料蒐集費を三年間補助するので蒐集計画を具体的に立案するよう法文学部に通知して、同年五月三十一日の法文学部教授会はこれを諮り、委員に任命された長沼賢海教授（文科）、三田村一郎教授（経済科）、金田平一郎助教授（法科）が案を作り、同年九月に活動を開始したことが知られている。^{（1）}

松浦総長は、九州に立地する大学として史料蒐集の意義を認識していたと思われる。九州帝大は同年に、九州文化史の史料蒐集に関連する次年度の新規事業として、研究所設立のため二万円の概算要求を国に行なっていた。こ

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

の計画については、地元福岡の地方新聞紙上でも関心を持って報道されていたが、結局予算獲得の報は届かなかった。⁽²⁾その後、法文学部では、昭和十一年度から同二十年度まで、助教授二名・助手三名・書記一名規模の人員配置を伴う「九州地方特殊文化資料蒐集経費」の概算要求計画を立て続けている。⁽³⁾法文学部のこうした動きは、九州文化史の事業と関連づけて理解するができよう。しかしながら、当該史料蒐集経費の獲得は、結局実現を見なかった。その結果として、九州文化史は引き続き、長沼賢海、三田村一郎、金田平一郎ら法文学部の関係教員が中心となつて、史料蒐集活動を継続していくことになる。⁽⁴⁾

ここに紹介する『日誌』は、こうした活動状況下に、九州文化史の事務職員が記した業務日誌である。墨書と万年筆によつて書かれている。期間は昭和十四年四月五日から同十九年二月一〇日までの四年十ヶ月に及ぶ。

最初の記事は、昭和十四年四月五日に豊津中学教諭に転出する元嘱託の井上を、原田嘱託が見送った記事からはじまる。末尾は、原田の嘱託退職が発令された昭和十九年二月一〇日までとなっている。この『日誌』は、井上の転出を機に、原田によつて書きはじめられたものと考えてよさろう。井上とは井上忠のことである。⁽⁵⁾井上忠は昭和十三年三月に九州帝国大学法文学部国史学科を卒業後、同年四月より法文学部事務室の嘱託となり、九州文化史の業務に従事していた。⁽⁶⁾

昭和十四年の『九州帝国大学職員録』（以下、『職員録』と略記する）には、法文学部（事務室）の嘱託として「月三〇（研究室）従六位勲八等 原田如一」と名前がみえる。⁽⁷⁾この『職員録』の原田如一が日誌の主な筆者である。

以下、小稿では先ず原田如一について検討する。次いで日誌の登場人物一覧表を作成し、若干の分析を試みることで史料解題にかえたい。

一、原田如一について

昭和十七（一九四二）年に九州帝国大学法文学部経済科助教授として着任した宮本又次は、昭和二十六（一九五二）年に大阪大学へ転任するまでの間、九州文化史の史料蒐集に関与した。宮本が残した回想録には、当時九州文化史の業務を担っていた事務嘱託や写生字の名前が出てくる。そこには原田如一も登場している。宮本の回想によれば原田は、史料の筆写や江戸時代の藩領地図を作成したほか、昭和十八年十月には宮本と金田平一郎の日田の史料採訪に随行していた。⁽⁸⁾

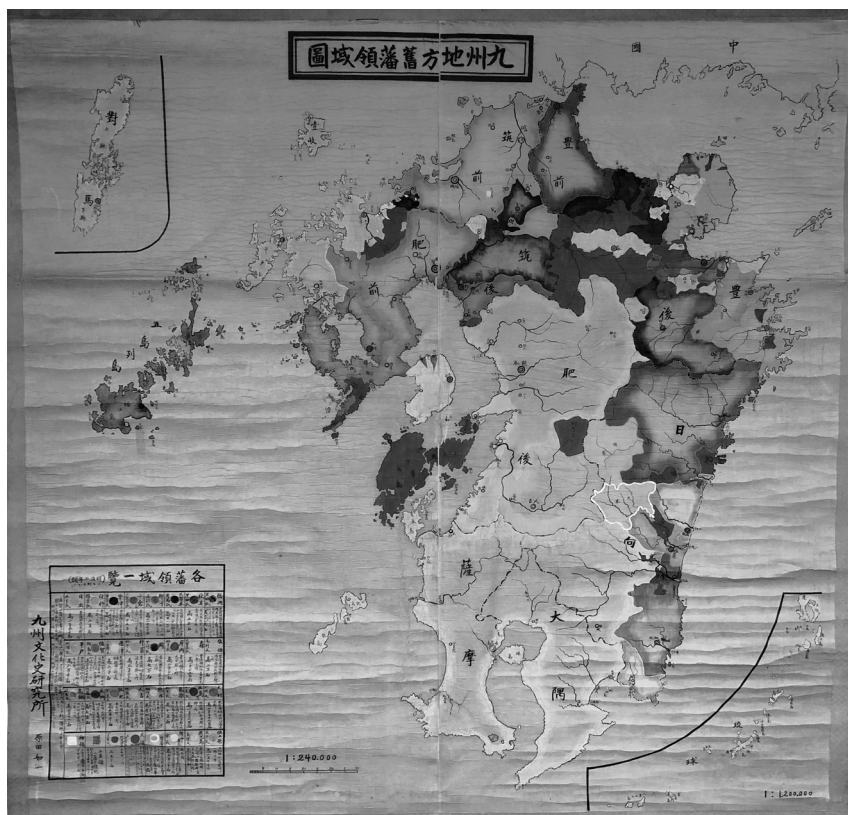
史料採訪については、『日誌』でも記事を見い出すことができる。その記事を要約してみると、昭和十四年九月三日から同六日まで法科助教授金田平一郎と佐賀・長崎両県へ出張。昭和十五年九月十五日には、岡部嘱託・有富氏とともに金田教授に随行して福岡県内の糸島郡前原町へ古文書採訪。昭和十七年四月十三日は島井文書謄写のために金田教授と「市記念館」行き、昭和十八年十月十一日から同十三日まで金田教授に随伴して大分県出張。同年十一月二十八日には金田教授・宮本助教授に随行して北條雇・明石氏とともに日田の広瀬家を訪ねる。このほか原田は単独で、昭和十七年十月二十七日から五日間、京都帝国大学へ出張している。

原田による藩領地図の作成にも注目してみよう。昭和十六年二月二十日付の福岡日日新聞に「九州・藩政時代の色分け詳図 九大法文研究室で完成」と見出しのある記事が掲載されている。この記事によれば、原田はかねてより廃藩置県前の九州諸藩の領域を色分けした地図の作成に取り組み、最近完成したのであった。原田は取材に対して「この計画を思い立ってから私が出張したところでは私が調査して来たが、行かないところは各町村に照会して回答して貰いました一村で一藩をなしてゐるところは問題なかったが、一村で二藩になってゐるところは苦心しました、それに又甲藩の中にボンと乙藩の飛地があったりして仲々面倒でした」と、相給村落や飛地の描写に苦心したこと

を述べている。⁽⁹⁾

図1は記録資料館九州文化史資料部門に保管されている「九州地方旧藩領域図」である。二十四万分の一の縮尺で九州諸藩と散在する天領が色分けされている。画面左下方に「九州文化史研究所 原田如一」と墨書がある。この図こそ、当時地方新聞に紹介され、宮本が回想した藩領地図である。調査研究の基礎資料とするために九州諸藩の藩領色分け図を完成させた原田は、その後、瀬戸内海島嶼、中国・四国・南海地方の作図に取り組んだ。¹⁰

原田の地図は、戦前の日本史（国史）学界では他に類を見ないだけではない。本支藩関係や知行地の分布を色分けしている点は、戦



— 162 —

後の幕藩体制研究のテーマをさきどりしたとも言える藩領域図であった。⁽¹⁾

事務全般をこなし、藩領地図の作成を手掛け、宮本や金田の史料採訪にも同行した原田囑託とはいかなる来歴の人物であろうか。

原田囑託の履歴に関する記録を見い出すことができない中、『糟屋郡教育名鑑』に、昭和七年から香椎尋常高等小学校訓導兼校長並に同公民学校校長兼教諭を勤めた原田如一の名前があることは重要な手掛かりとなる。⁽¹²⁾ 従六位勲八等の勲等に叙せられていることから、この人物が原田囑託と考えられるのである。同書によれば、原田如一は明治十七年生まれ、同三十八年十月に福岡師範学校を卒業後、同年十一月に京都郡豊津尋常高等小学校訓導となつてゐる。その後、京都郡立准教育養成所訓導（明治四十三年）、京都郡豊津実業女学校教諭（明治四十五年）、三潆郡三潆技芸女学校教諭（大正五年）、大溝実業補習学校教諭兼校長（大正十年三月）、福岡県庁学務課（同年十月）、三井実業女学校長（大正十三年）を経て、昭和七年から香椎尋常高等小学校訓導兼校長並に同公民学校校長兼教諭を勤めた。長く教職を勤めた後、昭和十三年、五十四歳のときに九州大学法文学部の囑託となつたのである。

昭和十九年二月に法文学部の囑託を辞職した後の原田については、福岡県議会議事事務局の囑託として『詳説福岡県議会史』の編集に携わつていたことが確認できる。⁽¹³⁾

二、登場人物一覧表

法文学部の事務組織を『職員録』から見てみよう。昭和十四年の法文学部事務室の人員は、書記四名・囑託七名・雇十三名であつた。囑託は、教務掛が二名、研究室担当が三名、このほか「中華民國ニ於ケル法文学部諸科目関係図書ノ調査」一名、「心理学講座ニ関スル電気機械ノ装置並修理用務」の助教授一名所属している。雇は、研究室担

当のほかに庶務掛・教務掛・会計掛があった。嘱託以下の事務員は年によって変動している。

九州文化史の業務に従事したのは研究室担当の嘱託と雇であった。表1は『日誌』に登場する人名を五十音順に一覧したものである。昭和十四年四月から同十九年二月までの四年十ヶ月の期間に九州文化史に出入りした人の数は一一六名にのぼる。

原田のほかに九州文化史の業務に従事した嘱託は岡部庄作、大谷穠次郎が居た。大谷は国史学の研究補助員から嘱託になっている。岡部や大谷も金田助教授の史料採訪に随行した。雇は北條義堯と中村隆則（日誌では北條は嘱託となっている）が勤務していた。嘱託や雇は交代で宿直があり、勤労作業に出勤することも多かった。九州帝大で実施された他大学や各地の高等教育機関の入試の試験監督も行った。嘱託と雇のほかに「筆耕」として有富筑太郎が籍を置いていた。

当時、九州文化史は法文学部棟の地下に部屋があった。法文学部の関係教員のうち、九州文化史をもっとも頻繁に訪れたのは、法科助教授（のち教授）の金田平一郎であった。昭和十四年から同十九年の約五年の間に三五一回を数える。「金田さんは毎日のように地下室の部屋に出勤されて、⁽¹⁴⁾ 督励されていた」とする宮本の回想を裏付けるものである。金田は史料採訪だけでなく、定期的に茶話会や歌会を催して事務員との親交を深めている。九州文化史の運営を法文学部の関係教員のうちで中心的に担っていたのが金田であったということができよう。このほか、国史学の助手、副手、研究補助員、農学部教員が訪ねてくることもあった。

昭和十五年一月十七日には、文部大臣に就任した松浦鎮次郎へ九州文化史から祝電を送っている。学内の一研究所が文部大臣に祝電を送った記述はいささか奇異な印象を与える。ここで、九州文化史が九大総長時代の松浦によって創設されたことを想起すると、生みの親とも言うべき松浦の文部大臣就任が、九州文化史にとってさらなる発展を期す千載一遇のチャンスに映ったのかもしれない、とは深読みがすぎるであろうか。

表1 登場人物一覧（五十音順）

	人名	名前（生没年）／所属／専門／日誌の記述
あ行	相田二郎	(1897-1945)／東京帝国大学史料編纂官／中世史・古文書学
	青木教授	「福高商青木教授来所」(S17/11/13)
	青木教諭	「福岡高女青木教諭来所」(S14/7/24)
	赤岩金太郎	北海道帝国大学司書兼北海道帝国大学書記、任北海道帝国大学予科教授（官報1943/7/16）／「北海道帝国大学附属図書館司書赤岩金太郎」（日誌 S18/7/15）
	明石	明石種次郎／法文学部助手（法制史）(S17職員録)
	阿部狂介	長崎縣立平戸高等女学校教諭（官報3961 S15/3/22）、長崎縣立中学猶興館（長崎縣職員録 S18）
	天野秀	法文学部事務室 雇（会計掛・庶務掛）(S15～19職員録)
	荒川総長	荒川文六（1878-1970）／工学部／電気工学
	有富 有富筑太郎 有富筆耕	「有富筆耕」（日誌 S16/11/1）、「有富氏退職ノ旨申出デラル」（日誌 S17/9/28）
	有吉憲彰	福岡地方史／「有吉憲彰氏（材木町3）来所、軸物持帰ル」（日誌 S15/4/8）
	粟生又太郎	元法文学部嘱託（～S12職員録）
	井口源四郎	「神代小学校」（日誌 S15/3/18）
	池上書記	池上英敏／法文学部事務室 書記（S14・15職員録）
	伊島執事	「松浦家別邸伊島執事」（日誌 S15/3/18）
	板澤助教授	板澤武雄（1895-1962）／東京帝国大学文学部助教授・教授／近世史・蘭学史
	伊藤	「伊藤利己／法文学部雇（S14職員録）」
	伊東尾四郎	(1869-1949)／元福岡県立図書館長、公立専門学校教授・福岡県史料調査事務嘱託／地方地
	糸賀三郎	「中央社会事業協会」（S17/10/21）
	伊奈	伊奈健次（1908-49）／明善中学校教諭、海軍兵学校教官／近世史
	井上君一	「岡山縣浅口郡乙島」（日誌 S14/4/17）
	井上嘱託 井上教諭 井上忠 井上副手	井上忠／元法文学部嘱託、豊津中学校教諭、法文学部国史学研究室副手、大学院特別研究生、戸畑九州専門学校講師／近世史・洋学史
	岩田 岩田辰雄	「国史科書生」（日誌 S14/5/20）、「国史科学生」（日誌 S14/9/18）
	植村平八郎	唐津中学校教諭（S11）／唐津郷土史
	白杵丈次郎	「福岡日日新聞門司支店長」
	江頭久太郎	「佐賀縣小城町鍋島子爵家内庫所」（日誌 S14/9/14）
	遠藤助教授	遠藤正男（1901-40）／元法文学部講師・助教授／近世史・経済史
	大谷 大谷穉次郎 大谷嘱託	法文学部研究補助員（国史学）（S13職員録）・法文学部嘱託（S15・16職員録）
	大塚	「大塚虎雄（助手）（S15一覽）」／「工学部大塚氏来所」（S15/2/27）
	岡島	「岡島誠太郎／奈良女子高等師範学校教授／エジプト史」／「奈良女高師岡島教授来所」（日誌 S18/10/25）
	岡部	「岡部龍玄（S15一覽）」／「本部学生課長岡部氏」（日誌 S15/2/27）
	岡部嘱託 岡部庄作	岡部庄作／法文学部研究室 嘱託（S14～17職員録）
	織田三郎治	「史蹟名勝天然記念物保存協会」（日誌 S15/3/18）
	小田安太郎	「厳原町宗家々職小田安太郎氏来所」（日誌 S15/5/28）
	尾中	「斯道文庫尾中氏来所」（日誌 S14/5/22）
	小野	「小野氏応召ニ付事務員一同送別会開催、原田・岡部出席」（日誌 S17/2/24）
	小葉田淳	(1905-2001)／台北帝国大学文政学部助教授／貨幣史・鉱山史
	小山田貞幹	「宇佐町小山田貞幹」（日誌 S18/4/22）

	人名	名前（生没年）／所属／専門／日誌の記述
か行	鏡山講師	鏡山猛（1908-84）／法文学部講師（考古学）（S14～19職員録）
	金田教授 金田助教授	金田平一郎（1900-49）／法文学部／法制史
	神吉	「神吉氏、古文書ニ関し來所」（日誌 S14/9/5）
	河村学部長	河村又介（1894-1979）／法文学部教授（S14職員録）／憲法
	菊池学部長	菊池勇夫（1898-1975）／法文学部教授（S18職員録）／労働法
	北崎	「宇佐町北崎氏ヨリ借用書類返却方照会狀來ル」（日誌 S18/4/2）
	吉川秀造	「山口高商吉川秀造氏來所」（日誌 S18/9/23）
	木村教授	木村修三／農学部教授（S16職員録）／農業経営学
	清原教授	清原貞雄（1885-1964）／広島文理科大学教授／思想史・神道史
	栗村教授	栗村雄吉／法文学部教授（S16職員録）／経済学
	河野清実	（1878-1952）／柞原神宮宮司／国学・郷土史
	合屋武城	三池中学校長兼三池中学校教諭／「合屋武城氏來所」（日誌 S17/5/13）
	黒正教授	黒正巖（1895-1949）／京都帝国大学農学部教授／経済史
	小原助手	小原克巳／法文学部助手（国文学）（S14・15職員録）
さ行	小林栄三郎助教 小林講師	法文学部講師（S17職員録）・助教（S18職員録）／西洋史
	榊原	榊原末一／法文学部嘱託（S14～17職員録）、法文学部研究補助員（国史学）（S18・19職員録）／「榊原氏退職ニ付送別昼餐會開催」（日誌 S18/8/1）
	柴田甚五郎	東洋大学教授／陽明学
	新谷九郎	「新谷九郎氏來所」（日誌 S16/5/20）
た行	高石	〔高石顕義〕／法文学部事務室雇（教務掛）（S14職員録）
	高木教授 高木先生	高木市之助（1888-1974）／法文学部教授（S17職員録）／国文学
	高木部長	「高木部長ノ送別會」（日誌 S17/5/21）、「高木部長新任招待宴ニ出席」（日誌 S15/7/5）
	高口記者	「福日新聞記者高口氏來所」（日誌 S16/5/9）
	瀧沢修作	〔岡山県〕／「瀧沢青年学校校長瀧沢侑作」（日誌 S16/7/4）
	瀧沢駒次郎	〔岡山県〕玉島高等女学校／「玉島高女瀧沢駒次郎氏」（日誌 S17/2/5）
	竹岡教授	竹岡勝也（1893-1958）／法文学部／思想史
	玉泉教授	玉泉大梁（1886-1971）／福岡高等学校／中世史
	田中教授 田中助教授	法文学部／「金田・田中両教授來所」（日誌 S15/8/22）
	手原賢二	「市社会教育課手原賢二氏來所」（日誌 S17/9/18）
	東郷書記	東郷萬七／法文学部事務室書記（庶務掛主任）（S14～16職員録）／「東郷書記理学部ニ転任」（日誌 S17/4/21）
	十時英司	大分県立第一校等女学校教諭
な行	中尾	「中尾氏來所」（日誌 S15/1/29）
	中島教授	中島慎一／法文学部教授（S16職員録）／哲学・哲学史
	永田	永田伊助（S15一覽）／「図書館永田氏」（日誌 S15/2/3）
	中野主任	中野葛二／法文学部事務室 書記 事務主任（S14～18職員録）
	長沼教授 長沼元教授	長沼賢海（1883-1980）／法文学部／国史学
	中村隆則 中村雇	法文学部雇（S18・19職員録）
	中山主事補	中山輝雄（S15一覽）／「中山主事補ノ送別會」（日誌 S15/4/18）
	並■氏	「宇佐町並■氏宛借用圖書返送」（日誌 S18/12/22）
	新見忠之	「神宮皇学館新見忠吉」（日誌 S17/7/28）
	西尾	「西尾嘱託本日ヨリ校正役出仕」（日誌 S14/4/28）
	根緒	「香椎高女根緒・原田両教諭」（日誌 S14/12/12）

	人名	名前（生没年）／所属／専門／日誌の記述
は行	箱田部長	「午后三時ヨリ箱田部長ノ挨拶アリ」（日誌 S17/5/21）
	波多野	波多野皖三（1912-92）／法文学部副手（国史学）S14・15職員録）・同助手（S16職員録）、鹿児島師範学校教諭（S17～）／中世史
	波多野助手	
	花田一重	「岡山縣花田一重氏」（日誌 S16/8/17）
	林銑吉	「島原第一小学校長」（日誌 S15/3/4）
	林田助教授	林田和博／法文学部助教授（S15職員録）／行政法
	原田	「香椎高女根緒・原田両教諭」（日誌 S14/12/12）
	原田囑託	原田如一／法文学部研究室囑託（S14～18職員録）／「文科研究室公用図書取扱者」（日誌 S14/4/5）、「原田囑託退職発令セラル」（日誌 S19/2/10）
	檜垣	檜垣元吉（1906-88）／財団法人斯道文庫助手、法文学部研究補助員（国史学）（S14～19職員録）／国史学
	日野助教授	日野開三郎（1908-89）／法文学部助教授（S15職員録）／東洋史
	広瀬家令	「平戸松浦伯爵家別邸事務所広瀬家令」（日誌 S15/3/6）
	廣瀬	「日田廣瀬氏来所」（日誌 S15/11/15）
	福田惣二	「大村男爵家家扶」（日誌 S14/9/8）、「大村子爵家家扶」（日誌 S14/9/11）、「大村伯爵家」（日誌 S14/10/11）
	藤井甚太郎	（1883-1958）／文部省維新史料編纂官、のち法政大学教授／近現代史
	渕田卯三郎	「人吉町渕田卯三郎氏ヨリ借用之相良史料」（日誌 S14/8/19）
	舟橋	舟橋清賢（1891-1967）／文部政務次官／「来所」（日誌 S15/5/16）
	北條北條屋	北條義堯／法文学部研究室 雇（S18・19職員録）／「北條氏当所係ニ囑託、午後ヨリ出勤」（日誌 S18/6/30）、「北條氏演習室係ヲ命ゼラル」（日誌 S18/8/1）
ま行	本庄 本庄栄治郎	（1888-1973）／京都帝国大学経済学部教授・附属図書館長／経済史
	本多	「本多豊津高女教諭来所」（日誌 S15/6/4）
	増田	増田廉吉（1887-1955）／長崎県立長崎図書館長
	松浦文相	松浦鎮次郎（1872-1945）／文部大臣、元九州帝国大学総長（S4-11）
	〔松尾〕悠	「肥前名護屋村 悠宛古記録目録送付」（日誌 S18/1/14）
	松濤学部長 松濤新学部長	松濤泰巖（1883-1962）／法文学部教授（S14職員録）／教育学
	松本征二	「中央社会事業協会」（日誌 S17/7/15）
	水山清暁	法文学部研究補助員（国史学）（S14職員録）／国史学
	三田村教授	三田村一郎／法文学部教授／财政学
	宮崎	「鞍中教諭」（日誌 S14/8/5）
	宮本助教授	宮本又次（1907-91）／法文学部助教授／経済史
	武藤長蔵	（1881-1942）／長崎高等商業学校名誉教授／近世史
	毛利	「戸畑九州専門」（日誌 S17/5/15）
	本末金城	「島原町松平管理所」（日誌 S15/3/6）
や行	山口	「宿直山口氏ト交替」（日誌 S16/4/5）
	山口浅太郎	山口麻太郎（1891-1987）／宍粟史蹟名勝天然記念物保護顕彰会／宍粟地方史
	山口書記	「免官山口書記及高石両氏ノ送別会」（日誌 S15/1/12）
	山崎司書	山崎正（S14一覽）／「山崎司書送別会」（日誌 S14/4/5）
	山本留次郎	山本留次郎／法文学部事務室 雇（会計掛）（S14職員録）
	由比泰介	「糸島郡前原町ニ古書探訪ニ出ル 重富家感懐記備考一冊 由比泰介氏ニ借用ス」（日誌 S15/9/18）
	吉田囑託	吉田廉／法文学部事務室 囑託（教務掛）（S14・15職員録）
	吉村茂三郎	唐津中学校教諭

（凡例）『日誌』に登場する人名を五十音順とした。判明するものについて名前（生没年）／当時の所属／専門／日誌の記述を記した。典拠については、『九州帝国大学職員録』は「職員録」、『九州帝国大学一覽』は「一覽」、『日誌』の引用は「」で示し、末尾に「日誌」と略記した。「S」は昭和の略称である。このほか「官報」や『日本史研究者辞典』（吉川弘文館、1999年）等を適宜参照した。作成者が判断したものについては〔 〕で示した。

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

『日誌』を読み進めていくと、九州文化史には学外からも様々な訪問者があったことがわかる。記事の委細については翻刻文に譲りたい。ここでは九州文化史の史料収集の特徴の一つとして、昭和十五年以降に、平戸松浦家、対馬宗家、大村家、小城鍋島家など、旧大名家クラスの所蔵史料に関して多く照会していることを指摘しておきたい。

小括

「はじめに」で指摘したとおり、法文学部では、昭和十一年度から同二十年度まで、「九州地方特殊文化資料蒐集経費」の概算要求を計画しているが、結局実現には至っていない。原田の『日誌』は、このような現状の下で、金田平一郎が中心となり、のちに宮本又次も加わって九州文化史の史料蒐集活動が行われていた時期に記された事務日誌であった。情報量は必ずしも多いと言えないが、戦時期の時代状況が反映された内容となっており、多様な読み方のできる史料であると言えよう。

本稿は、JSPS 科研費21K01107、JSPS 科研費20K20503、
JSPS 科研費23K00817による研究成果の一部である。

註

- (1) 『九州大学五十年史通史』（九州大学創立五十周年記念会、一九六七年）三五三～三五五頁。
- (2) 「九大法文学部にて九州特異文化研究」（福岡日日新聞昭和九年九月十八日）。本記事のなかで、松浦総長の言として

「法文学部九州地方文化研究所の費用は、有意義なものだし且つ速やかに出来上らねば史料の散逸する心配があるので是非承認されたいと希望してゐる」と記されている。なお、本新聞記事については、梶嶋政司編「九州文化史」アーカイブ事始め」（『九州文化史研究所紀要』六一、二〇一八年）二五、三一・三三頁に翻刻掲載している。

- (3) 『昭和八年〜十三年評議会記録No.5』・『昭和十四年〜十七年評議会記録No.6』・『昭和十八年〜十九年評議会記録No.7』・『昭和二十年〜二十三年評議会記録No.8』（九州大学文学部蔵）。評議会記録については、二〇一八年六月六日に九州大学文学部蔵で閲覧した。閲覧に際して折田悦郎教授（当時）に大変お世話になった。

- (4) 昭和九年以降に九州文化史研究所が行った史料蒐集活動については、史料採訪の日記が残っている（梶嶋政司「草創期九州文化史研究所の史料収集活動——『採訪日記』の紹介——」『九州文化史研究所紀要』四九号、九州大学記録資料館九州文化史資料部門、二〇〇六年）。なお、『採訪日記』のなかにも原田如一は登場しているが、翻刻と記述の際に「原田好一」と読み誤って翻字している（七七・一一頁）。ここに訂正しておきたい。

- (5) 昭和十三年『九州帝国大学職員録』（九州大学附属図書館蔵）三八五頁。

- (6) 『井上忠教授略歴・著作目録』（福岡大学人文論叢）第一六巻第四号、福岡大学総合研究所、一九八五年）一七一頁。

- (7) 昭和十四年『九州帝国大学職員録』（九州大学附属図書館蔵）三六〇頁。

- (8) 宮本又次「私の研究編暦」（『商品流通の史的研究』ミネルヴァ書房、一九六七年）五八五頁。

- (9) 『福岡日日新聞』昭和十六年二月二十日付（『西日本新聞 昭和編』DVD版）。『西日本新聞 昭和編』DVD版の閲覧に際しては福岡市史編纂室の八嶋義之氏に便宜を図っていただいた。

- (10) 『福岡日日新聞』昭和十六年五月十日付「藩政色分け地図 現れた高野山寺領勢力 九大・原田氏の業績着々進捗」・同年八月九日付「瀬戸内海の新海賊史 研究資料の各藩所属島嶼色分図 九大法文学部で完成」（『西日本新聞 昭和編』DVD版）

- (11) 戦後の幕藩体制研究の代表例として藤野保「幕藩体制史の研究」（吉川弘文館、一九六一）をあげておきたい。同書六六二頁には佐賀藩領の蔵入地と地行地の分布図がある。

- (12) 藤和一郎『糟屋郡教育銘鑑』（福岡朝日新聞社、一九三六年）一三一頁。

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月〜十九年二月）について

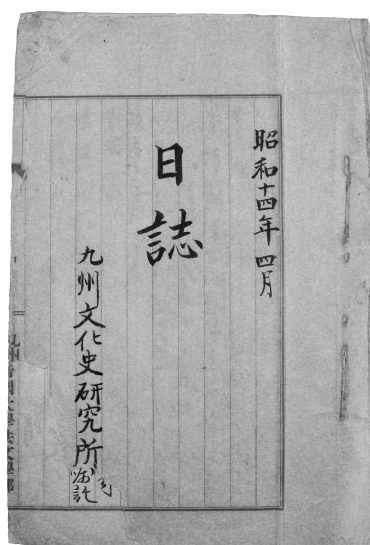
九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

- (13) 原田如一「附 議会こぼれ話」（『詳説福岡県議会史 昭和編第二巻』福岡県議会事務局、一九五七年）八六九～九二二頁。同「議会こぼれ話」（『詳説福岡県議会史 昭和編第三巻』福岡県議会事務局、一九五九年）一三八九～一四〇二頁。
- (14) 宮本又次「私の研究編暦」五八五頁。

〔凡例〕

- 一、本史料は九州大学附属図書館付設記録資料館九州文化史史料部門が所蔵する『日誌』を翻刻したものである。
- 一、原本は「九州帝国大学法文学部」の野紙を用いて、墨書またはペン書きで、月日、曜日、記事が縦書きに記されているが、翻刻にあたっては、誌面の都合上二段組としている。
- 一、翻刻にあたっては、漢字の旧字体（正字体）は、一部の固有名詞を除き現行の字体に改めた。
- 一、判読困難な文字は■で示した。
- 一、読みやすさを考慮して、適宜読点と並列点を付した。
- 一、見せ消ちは「々」で示し、修正がある場合はルビで該当の文字を示した。
- 一、翻刻者が付加した情報については「〔 〕」を用いて記載した。
- 一、人名については、登場人物一覧を作成した。

昭和14年（1939）



（表紙）

「昭和十四年四月

日誌

九州文化史研究所」

（九州帝国大学法文学部罫紙）

（縦24・3 cm 横16・5 cm）

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

〔昭和十四年〕

四月五日 水曜 晴

井上囑託、豊津中学校教諭ニ就任ニ付、辞表提出後、赴任ノ為箱崎駅へ出発ニ付、原田囑託代表トシテ見送ヲナス

原田囑託、文科研究室公用図書取扱者ヲ命セラル
午后五時ヨリ大会議室ニ於テ、山崎司書送別会
挙行ニ付、原田・岡部囑託出席

四月六日 木曜 晴

山崎司書来室

欠勤中ノ有富氏ニ出状

四月七日 金曜 雨

豊津小笠原家、中津小幡図書館（惣町大帳享保
年間ノ分）ヨリ借用ノ図書ヲ返送ス

電話器位置取替

金田助教授来所

四月八日 土曜 晴

無特記事

四月十日 月曜 晴

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

有富氏本日ヨリ出勤

岡部囑託宿直

四月十一日 火曜 半晴

無特記事

四月十二日 水曜 曇

原田囑託宿直

四月十三日 木曜 晴

有富氏午後二時早引

金田助教授来所

四月十四日 金曜 晴

有富氏欠勤

室内掃除ヲナス

四月十五日 土曜 曇

西尾氏出勤

有富氏欠勤

四月十七日 月曜 曇

岡山縣ミナモト弥ミナモト口郡乙島、井上君一氏外一人来所、古

記録取調

長沼教授来所

有富氏欠勤

西尾氏出勤

四月十八日 火曜 曇

金田助教授来所

史料目錄五拾五冊ヲ講師以上ニ渡ス

半紙一メ受ク

西尾氏出勤

四月十九日 水曜 曇

有富氏欠勤

長沼教授来所、麻生文書二卷持参

西尾氏出勤

四月二十日 木曜 曇

有富氏本日出勤

四月二十一日 金曜 曇

無特記事

四月二十二日 土曜 晴

無特記事

四月二十四日 月曜

長沼教授来学

斯道文庫檜垣氏来学

〔欄外に鉛筆書〕
「トレーシングペーパー三十枚受人」

四月廿五日 火曜 曇

靖国神社臨時大祭ニ付、工学部グラウンドニテ

遙拝式挙行、原田囑託出席

四月廿六日 水曜 雨

有富氏欠勤

四月廿七日 木曜 晴

長沼教授来所

四月廿八日 金曜 晴

西田^尾囑託本日ヨリ校正役出仕

金田助教授来所

四月廿九日 土曜

午前十時、学生第二集会所ニ於テ天長節儀式挙

行、原田囑託参列

五月一日 月曜

長沼教授来所

五月二日 火曜

無特記事

五月三日 水曜

檜垣元吉氏来所

金田助教授来所

岡部囑託宿直

五月四日 木曜

国史大辞典（六卷）受人

五月五日 金曜

原田囑託宿直

五月六日 土曜

午後一時ヨリ三畏閣ニ於テ、金田助教授、職員

一同、茶話会開催

五月八日 月曜

檜垣氏来所

五月九日 火曜

無特記事

五月十日 水曜

檜垣氏来所

学用界紙四状受取ル

五月十一日 木曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

創立記念式挙行二付、原田・岡部両嘱託参列

後、金田助教授来所

式後直二引取

有富氏欠勤

五月十二日 金曜

無記事

五月十三日 土曜

無記事

五月十五日 月曜

檜垣氏来所

五月十六日 火曜

無特記事

五月十七日 水曜

金田助教授来所

檜垣氏来所

午後六時ヨリ新三浦ニ於テ学内事務員之懇親会

開催、原田・岡部両嘱託出席

五月十八日 木曜 曇

無特記事

五月十九日 金曜 晴

無特記事

五月二十日 土曜 晴

有富氏欠勤

国史科書生岩田氏ニ惣町大帳（天保十三年）巻

冊貸付

五月二十一日 日曜 晴

岡部嘱託日曜宿直

五月二十二日 月曜 曇

原田嘱託午後早引

檜垣氏来所

ス道文庫尾中氏来所、會計日

五月二十三日 火曜

ス道文庫尾中氏来所、給料日

五月二十四日 水曜 雨後晴

檜垣氏来所

五月廿五日 木曜 晴

無特記事

五月廿六日 金曜

原田囑託忌引 日迄

軍教五十年勅語奉戴式挙行、於工科グランウインド

五月廿七日 土曜

無特記事

五月二十九日 月曜

豊太閣真蹟集購入ノ義ニ付、長沼教授ヨリ申出

ニ依リ、図書館ニ申込ム

原田囑託忌引ノ件ニ付、本日廻リテ手続ヲナス、

本日^{（ヨ欠カ）}リ出勤

除服出仕

文部省会計課長随員、荒川総長、中野主任、池

上^ス山書記来所

檜垣氏来所

五月三十日 火曜

河村学部部長来所

五月三十一日 水曜

檜垣氏来所

六月一日 木曜

無特記事

六月二日 金曜

無特記事

六月三日 土曜

原田囑託欠勤

元研究補助員大谷氏寄贈ノ古文書記録ヲ図書館

ニ一応送ル

五^ス六月四日 月曜

長沼教授夫人兼テ小野寺内科ニ入院中ノ処、午

前四時逝去之趣承ル、右ニ付午後原田囑託、長

沼教授自宅ニ加勢ニ出ル

檜垣氏来所

水山清眺氏、研究所補助員トシテ本所ニ席ヲ置

カル

六月六日 火曜

無特記事

六月七日 水曜 曇

無記事

六月八日 木曜 曇

無特記事

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

午後四時半、於萬行事、長沼教授亡夫人之告別

式執行ニ付、原田・岡部会葬

六月九日 金曜 晴

無特記事

六月十日 土曜 晴

無特記事

六月十二日 日曜

原田囑託宿直

六月十二日 月曜

檜垣氏・金田助教授来所

六月十三日 火曜

無記事

六月十四日 水曜 晴

檜垣氏・水山氏来所

六月十五日 木曜 晴

長沼教授来所

水山氏来所

六月十六日 金曜 曇

水山氏来所

六月十七日 土曜 晴

水山氏来所

原田囑託宿直

六月十九日 月曜 晴

檜垣氏来所

六月二十日 火曜 曇

金田助教授来所

六月廿一日 水曜

金田助教授・檜垣氏来所

六月廿二日 木曜

金田助教授来所

六月廿三日 金曜

金田助教授・檜垣氏来所

六月廿四日 土曜

金田助教諭来所

養老令筆写終ル

六月廿六日 月曜

檜垣氏来所

宮崎図書館、内藤子爵別邸へ、古文書借用方申込

断状来ル、七月一日

六月廿七日 火曜

無特記事

六月廿八日 水曜

原田囑託欠勤

長沼教授来所

六月廿九日 木曜

有富氏欠勤

金田助教授来所

六月三十日 金曜

無特記事

退庁後茶話会

七月一日 土曜

無特記事

七月二日 日曜

原田囑託宿直

七月三日 月曜

宮崎図書館ヨリ旧文書六冊送付シ来ル

金田助教授来所

七月四日 火曜 雨

有富氏欠勤

七月五日 水曜 晴

檜垣氏来所

七月六日 木曜 晴

無特記事

七月七日 金曜 晴

支那事変二週年記念日

午前九時半ヨリ記念式挙行

午後事務遠慮

岡部氏宿直

七月八日 土曜 晴

無特記事

七月九日^土 月曜 曇

中野事務主任来所

檜垣氏来所

金田助教授来所

七月十一日 火曜

無特記事

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

河村学部長辞任挨拶アリ

七月十二日 水曜

金田助教授・檜垣氏来所

七月十三日 木曜

金田助教授来所

相良史料返却方申出ラル

七月十四日 金曜

金田助教授来所

七月十五日 土曜

無特記事

七月十六日^七 月曜

金田助教授・檜垣氏来所

松濤新学部長就任挨拶アリ

九月十八日^七 火曜

暑氣殊之外厳シ

九月十九日^七 水曜

金田助教授・檜垣氏来所

岡部嘱託微恙ニ付数時間静養

東郷書紀ヨリ電話アリ

1 半ドン廃止ノコト

2 昨年通り一週間賜暇増加ノコト

3 右期間中ノ賜暇日ヲ届出ルコト

凡ソ三週間以内タルベキコト

〔欄外〕
「暑氣烈し」

〔欄外〕
「京大図書館長本庄氏・三田村教授来所」

九月二十日^七 木曜

岡部嘱託欠勤

九月二十一日^七 金曜

岡部嘱託賜暇

金田助教授来所

九月廿二日^七 土曜

中野事務主任病氣ニ付、大学病院楠内科ニ入院、

依て退庁後見舞ス

九月廿四日^七 月曜

風涼シ

岡部嘱託賜暇

福岡高女青木教諭来所

九月廿五日^七 火曜

驟雨来ル

岡部囑託賜暇

金田助教諭来所

九^七廿六日 水曜

岡部囑託賜暇

演習室榊原氏、本所ニ移転、本日ヨリ

九^七廿七日 木曜

原田囑託賜暇

九^七廿八日 金曜

原田囑託賜暇

九^七廿九日 土曜

本日ヨリ防空演習実施

岡部囑託右ニ付居残、宿直

九^七三十日 日曜

防空演習第二日

原田囑託出勤

九^七三十一日 月曜

檜垣氏来所

防空演習第三日

備付バケツ破損ニ付修理ヲナス

岡部囑託賜暇

八月一日 火曜

長沼教授来所

豊中井上教諭来所

原田囑託宿直

岡部囑託賜暇

〔備外〕
「製本受人」

八月二日 水曜

原田囑託賜暇

八月三日 木曜

原田囑託賜暇

八月四日 金曜

原田囑託賜暇

八月五日 土曜

有富氏欠勤

金田助教諭、鏡山講師、宮崎鞍中教諭来所

八月七日 月曜

原田囑託賜暇

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

八月九日^八 火曜

原田囑託賜暇

有富氏欠勤

八月十日^九 水曜

有富氏欠勤

岡部囑託賜暇

宮崎図書館ヨリ旧文書返戻方催促状来、事務室

ニ延期方交渉

〔^{欄外}石鹼ヲ出ス〕

八月十日 木曜

岡部囑託賜暇

檜垣氏来所

榊原氏本日ヨリ帰郷

八月十一日 金曜

午前十一時於第一番教室

鏡山講師召集ニ付、壮行式挙行

午後一時半於本部講堂

事務職員講習会、第一日電気、岡部囑託出席

原田囑託賜暇

八月十二日 土曜

有富氏欠勤

八月十四日 月曜

鏡山講師召集入営ニ付、原田囑託衛戍迄見送

井上豊中教諭来所

午後一時半ヨリ事務者講習会ニ原田・有富氏聴講

岡部氏賜暇

八月十五日 火曜

原田囑託賜暇

有富氏欠勤

八月十六日 水曜

原田囑託賜暇

事務者講習会ニ岡部囑託・有富氏聴講

八月十七日 木曜

原田囑託賜暇

井上豊中教諭来所

八月十八日 金曜

岡部囑託賜暇

事務者講習会ニ原田囑託出席

金田助教授来所

八月十九日 土曜

岡部嘱託賜暇

人吉町瀨田卯三郎氏ヨリ借用之相良史料（三冊）

及、道中記、郵便ニテ返送ス

八月二十一日 月曜

原田嘱託賜暇

金田助教授来所

事務者講習会ニ岡部嘱託聴講

岡部氏宿直

八月二十二日 火曜

給料受取

八月二十三日 水曜

事務者講習会ニ原田嘱託聴講

岡部嘱託賜暇

原田嘱託宿直

八月二十四日 木曜

岡部氏賜暇

八月二十五日 金曜

岡部氏賜暇

八月二十六日 土曜

原田嘱託賜暇

有富氏欠勤

八月二十八日 月曜

原田嘱託賜暇

有富氏欠勤

八月二十九日 火曜

原田嘱託賜暇

有富氏欠勤

八月三十日 水曜

岡部嘱託賜暇

八月三十一日 木曜

岡部嘱託賜暇

九月一日 金曜

原田嘱託賜暇

金田助教授来所

九月二日 土曜

金田助教授来所

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

九月三日 日曜

金田助教授・原田囑託、事務取調ノ為メ、佐

賀・長崎両縣へ出張、九月六日ニ至ル

九月四日 月曜

九月五日 火曜

神吉氏、古文書ニ関シ来所

九月六日 水曜

原田助囑託帰学

九月七日 木曜

原田囑託、本日ヨリ出勤

史料目録発送、吉村茂三郎宛、植村平八郎宛

岡部囑託宿直

九月八日 金曜

大村男爵家扶福田惣二氏ヨリ古文書送り来ル

九月九日 土曜

無特記事

夜六時ヨリ於八百甚、松濤学部長ノ招宴ニ依リ

原田・岡部囑託出席

九月十一日 月曜

大村子爵家扶福田惣二氏ニ古文書送料四拾五
錢、切手代用送ル

小城町鍋島伯爵家ニ古文書借用方申込ム

神吉氏、古文書筆写ニ関シ本所古文書中ノ一卷

持帰ラル

九月十二日 火曜

無特記事

原田囑託宿直

九月十三日 水曜

金田助教授来所

有富氏ニ性論其他筆写依頼

九月十四日 木曜

佐賀縣小城町鍋島子爵家内庫所江頭久太郎氏宛

礼状差出ス

九月十五日 金曜

無特記事

九月十六日 土曜

無特記事

九月十八日 月曜

臼杵丈次郎氏来所

国史科学生岩田辰雄氏来所

九月十九日 火曜

無特記事

九月二十日 水曜

無特記事

九月二十一日 木曜

無記事

九月二十二日 金曜

一同退庁後、中野主任ヲ後藤外科ニ見舞フ

九月二十三日 土曜

無記事

九月二十五日 月曜

檜垣氏本日ヨリ校正始メラル

九月二十六日 火曜

無記事

九月二十七日 水曜

有富氏、性論其他浄書終了

九月二十八日 木曜

從午後四時於大会議室、勤勞作業ノ件ニ付協議
会施行、出席

九月二十九日 金曜

原田囑託居残ル

九月三十日 土曜

有富氏欠勤

〔欄外〕岡部氏宿直

〔欄外〕長沼教授来所

〔欄外〕十月一日 日曜

〔欄外〕集団勤勞作業アリ

十月二日 月曜

池上書紀ヨリ左記筆写本受取ル

沖繩 翁長文書

漂着常陸国人滞在日記

豊後国三佐人漂着之時日記

奥州人漂着之時日記

大和船送之嶋船漂着之節諸在番公事

御領国之船唐漂着之儀ニ付締方

地船訟

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

船改條目

那覇船改方規模帳

檜垣氏来所

十月三日 火曜

書棚ノ整理（書名書入）

十月四日 水曜

檜垣氏来所

十月四日^五 木曜

無記事^五

十月六日 金曜

宮崎図書館へ旧文書六冊返送ス

檜垣氏来所

十月七日 土曜

無記事

十月八日 日曜

岡部囑託宿直

十月九日 月曜

檜垣氏来所

十月十日 火曜

麻生文書、原田囑託今日夕映写ニ係ル

十月十一日 水曜

金田助教授来所

御掟書写、長崎図書館長へ返送

大村伯爵家福田惣二氏へ借用方申込

檜垣氏来所

十月十二日 木曜

無記事

十月十三日 金曜

有富氏写本ヲ左記宛ニ送付ス

東京市滝ノ川区上中里町一七二

〔鉛筆書〕
二二、七二

柴田甚五郎

檜垣氏来所

〔柴田甚五郎宛「特殊郵便物受領証」の貼付有り〕

十月十四日 土曜

無特記事

十月十五日^六 月曜

無記事^六

十月十七日 火曜

神嘗祭

十月十八日 水曜

原田囑託早引

檜垣氏来所

十月十九日 木曜

金田助教授来所

西尾氏来所

十月二十日 金曜

〔^{（欄外）}午前十時靖国神社臨時大祭遙拝式挙行、原田囑

託出席〕

十月廿一日 ^土金曜

本日ヨリ防空演習、救護班

岡部囑託試験監督

小城町鍋島子爵内庫所江頭久太郎氏宛古文書借

用二付、金田助教授参邸方照会

岡部囑託宿直

十月廿三日 月曜

檜垣氏来所

原田囑託宿直

本日ヨリ図書各藩別整理ニカ、ル

十一月廿四日 火曜

一 金田助教授来所

一 鍋頭島家江頭久太郎宛、参邸日時通知状発

送ス

一 午後一時半ヨリ^{（空力）}防毒演習ニ参加

十一月廿五日 水曜

原田・岡部囑託試験監督

十一月廿六日 木曜

金田助教授来所

麻生文書、原田囑託映写ノ分終了、文書ハ池上

書紀ニ返戻

十一月廿七日 金曜

無特記事

十一月廿八日 ^土土曜

有富氏欠勤

原田・岡部囑託試験監督

防空演習終了

十一月三十日 月曜

井上豊中教諭ヨリ菓子贈り来ル

十一月三十一日 火曜

金田助教授来所、小城鍋島家古文書到着

十一月一日 水曜

小城鍋島家古文書内容取調

本日ヨリ午前九時始業

十一月二日 木曜

小城鍋島子爵家へ正式^ス借用証送付

十一月三日 金曜

午前十時明治節儀式挙行

原田囑託参列

十一月四日 土曜

檜垣氏来所

十一月五日^六 月曜

岡部囑託宿直

金田助教授来所

十一月七日 火曜

無特記事

十一月八日 水曜

金田助教授来所

原田囑託宿直

西尾氏来所

十一月九日 木曜

無特記事

十一月十日 金曜

金田助教授来所

書棚各藩別ニ排置換

カード箱備付ク

十一月十一日 土曜

無特記事

十一月十三日 月曜

西尾氏来所

十一月十四日 火曜

金田助教授来所

十一月十五日 水曜

無特記事

十一月十六日 木曜

金田助教授来所

十一月十七日 金曜

無記事

本日ヨリ大村家譜外拾三冊校正ヲ始ム

十一月十八日 土曜

退庁後、金田助教授外一同懇親会ヲ開ク

十一月二十日 月曜

金田助教授来所

十一月二十一日 火曜

無特記事

十一月二十二日 水曜

金田助教授来所

檜垣氏来所

十一月二十三日 木曜

新嘗祭ニ付休日

十一月二十四日 金曜

無特記事

十一月廿五日 土曜

本日ニテ本村家譜其他ノ校正終了

十一月廿六^七日 月曜

金田助教授来所

大村家借用之古文書返送

十一月廿八日 火曜

原田囑託病氣欠勤

岡部囑託宿直

十一月廿九日 水曜

金田助教授来所

檜垣氏来所

十一月三十日 木曜

原田囑託病氣欠勤、十二月二日迄

〔^{欄外}原田宿直ノ予定ナリシモ吉田囑託ト交替〕

十二月一日 金曜

金田助教授来所

中野主任来所

十二月二日 土曜

無記事

十二月四日 月曜

原田囑託出勤

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

金田助教授来所

西尾氏来所

〔^{欄外}中野主任本日ヨリ欠勤之由〕

十二月五日 火曜

金田助教授来所

檜垣氏来所

十二月六日 水曜

檜垣氏来所

金田助教授来所

十二月七日 木曜

金田助教授来所

〔^{欄外}吉田囑託宿直〕

十二月八日 金曜

金田助教授来所

竹岡教授ノ案内ニテ東大板澤助教授来所

有富氏欠勤

十二月九日 土曜

有富氏欠勤

年末賞与発表

十二月十一日 月曜

有富氏欠勤

本日スチーム入ル

賞与金受取

十二月十二日 火曜

有富氏欠勤

金田助教授来所

香椎高女根緒・原田両教諭来所

十二月十三日 水曜

金田助教授来所

檜垣氏来所

有富氏出勤

十二月十四日 木曜

無記事

十二月十五日 金曜

金田助教授来所

十二月十六日 土曜

無記事

金田助教授来所

十二月十八日 月曜

旧文書其他四十一冊分、製本ノ為図書館ニ届ク

十二月十九日 火曜

金田助教授来所

岡部氏宿直

十二月二十日 水曜

金田助教授来所

小原助手来所

十二月二十一日 木曜

原田囑託宿直

有富氏欠勤

十二月二十二日 金曜

金田助教授来所

十二月二十三日 土曜

檜垣氏来所

八幡宮宣託集、長沼教授ヨリ預ル

十二月二十四日 日曜

岡部氏宿直

十二月二十五日 月曜

大正天皇祭ニ付休日

十二月二十六日 火曜

金田助教授来所

西尾氏来所

十二月二十七日 水曜

金田助教授来所

八幡宮宣託集、長沼教授ニ渡ス

西尾氏来所

惣町台大帳ノ校正ヲ初ム

十二月二十八日 木曜

御用納

正午ニ事務員一同昼餐会アリ

十二月卅一日

原田囑託宿直

〔昭和十五年〕

昭和十五年一月一日

午前十時新年拝賀式

原田囑託参賀

一月四日 木曜

御用初、有富氏欠勤

大谷穂次郎氏・西尾氏来所

痰壺ヲ室内ニ備付ク

一月六日 金土曜

有富氏出勤

井上豊中教諭来所

原田囑託宿直

一月七日 日曜

一月八日 月曜

金田助教授来所

西尾氏来所

学部長御用初ノ御挨拶アリ

一月九日 火曜

金田助教授来所

一月十日 水曜

無特記事

一月十一日 木曜

岡部囑託欠勤

図書ノラベル貼付替ヲナス

一月十二日 金曜

午後五時半ヨリ大会議室ニ於テ免官山口書記及

高石両氏ノ送別会アリ

原田・岡部両氏出席

一月十三日 土曜

無特記事

一月十五日 月曜

金田助教授・檜垣氏来所

一月十六日 火曜

金田助教授来所

小原助手来所、一同懇親会

本日ヨリ校正ノ紙数ヲ記載ス
~~~~~

一月十七日 水曜

金田助教授、檜垣氏来所

入口ニ靴拭マツトヲ置ク

岡部囑託宿直

松浦文相ニ就任ノ祝電発送

一月十八日 木曜

図書ノカード箱整理

金田助教授来所

一月十九日 金曜

謄写図書惣町大帳合七拾一冊、図書館ニ送ル

原田囑託宿直

一月二十日 土曜

無特記事

一月二十二日 月曜

無特記事

一月二十三日 火曜

金田助教授来所、給料受取

図書台帳ノ整理終了

雪降ル

一月二十四日 水曜

西尾氏来所

千原家文書レッテル貼布、図書館員来所

雪降ル

一月二十五日 木曜

書棚ノ整理ヲナス

一月二十六日 金曜

本日モ引続キ書棚整理了

雪降ル

一月二十七日 土曜

積雪寸余近年珍ラシキ事ナリ

一月二十九日 月曜

本日左ノ書籍返却発想ス

赤間関津口・長府川口定法切手格全

小笠原家宛

長州於長府領御米船難船記 一

宝暦二年銅船御廻米船於御領海難船記 一

右黒田家宛

中尾氏来所

長沼教授分左ノ古書預り保管

幽学莊舎ノ分 二ノ

一月三十日 火曜

影写之古文書巻物及絵図四十七点、図書館ニ送

付ス

午後四時半ヨリ大会議室ニ於テ協議会開催、原

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

田、岡部囑託出席ス

一月卅一日 水曜

金田助教授・長沼教授来所

大谷囑託本日付発令、来所

有富氏病氣ニテ早引

二月一日 木曜

有富氏欠勤

大谷囑託本日ヨリ出勤

金田助教授来所

二月二日 金曜

金田助教授・長沼教授来所

金田助教授ニ罰帳写本貸付

二月三日 土曜

有富氏欠勤

中津小幡図書館ニ惣町大帳返還

図書館永田氏来所、表具屋と同伴

今日モ雪降ル

二月四日<sup>五</sup> 月曜

日野助教授応召ニ付壮行式挙行、全員出席

二月六日 火曜

金田助教授来所

幽学壮舎ノ古文書返送ス

神奈川縣大船駅天神山下

午后五時大谷囑託歡迎ニ付、懇親会開催

二月七日 水曜

金田助教授来所

西尾氏来所 中津小幡図書館蔵本鉄道便ニテ

送ル

岡部囑託宿直

二月八日 木曜

各藩類別ノ木印三拾六個、会計ヨリ受取

二月九日 金曜

金田助教授来所

原田囑託宿直

小城町江頭久太郎氏ニ書面出ス

二月十日 土曜

金田助教授来所

事務室備付ノ尺一箇受取保管

原田囑託、縣立図書館ニ行ク

二月十一日 日曜

午前十時ヨリ紀元節儀式挙行、原田囑託参賀

二月十二日 月曜

金田助教授来所

二月十三日 火曜

無特記事

二月十四日 水曜

金田助教授来所

長崎武藤長藏氏ヨリ依囑ノ、忠之公時代福岡藩

分限帳筆写之分、送付ス

二月十五日 木曜

金田助教授来所

西尾氏来所

二月十六日 金曜

小城町鍋島家内庫所ニ古文書返却ス

罰帳其他 三十三冊

金田助教授来所

二月十七日 土曜

大谷囑託、金田助教授ニ随行、佐賀縣ニ出張、

明日迄

有富氏欠勤

二月十九日 月曜

金田助教授来所

一、小城鍋島家ヨリ古文書送り来ル、正式借用

証送ル

一、檜垣氏来所

二月二十日 火曜

特記事無シ

二月二十一日 水曜

一、金田助教授来所

2.10 34 56  
3.00

一、島原町松平子爵家ニ古文書借覧ノ件ニ付書

状ヲ出ス

一、西尾氏来所

二月二十二日 木曜

無特記事

二月二十三日 金曜

金田助教授来所

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

中津図書館及松平家ヨリ回答来ル

二月二十四日 土曜

一、小幡記念中津図書館ニ、惣町大帳ノ件ニ関

シ回答文発送

一、島原町松平家管理所へ、古文書借覧ノ件ニ

関シ更ニ照会状発送

二月二十六日 月曜

金田助教授・西尾氏来所

急須備付ク（私用）

二月二十七日 火曜

金田助教授・西尾氏来所

工学部大塚氏来所

本部学生課長岡部氏来所

平戸高女教諭阿部狂介氏ニ書面出ス

スチーム故障ニテ暖房無し

二月二十八日 水曜

本日ヨリ室内ニ火鉢ヲ備付ク

檜垣氏来所

二月廿九日 木曜

金田助教授来所

壱岐山口浅太郎氏<sup>（麻）</sup>へ書状出ス

岡部囑託宿直

三月一日 金曜

金田助教授来所

檜垣氏来所

三月二日 土曜

金田助教授来所

原田囑託宿直

三月四日 月曜

金田助教授来所

島原第一小学校長林銑吉宛書状ヲ出ス

三月五日 火曜

無特記事

三月六日 水曜

金田助教授来所

平戸高女阿部狂介氏ヨリ書面到着ニ付、礼状差

出ス

平戸町松浦伯爵家別邸及、島原町松平管理所本

末金城氏宛公文書差出ス（三月八日ニ發送）

平戸松浦伯爵家別邸事務所広瀬家令へ、礼状差

出ス

三月七日 木曜

金田助教授来所

三月八日 金曜

金田助教授来所

有富氏欠勤

三月九日 土曜

金田助教授来所

有富氏欠勤

三月十日 日曜

大連高等商業学校入学試験施行ニ付、原田、岡

部囑託出勤

三月十一日 月曜

金田助教授来所

元研究補助員水山氏来所

有富氏欠勤

島原松平管理所本末金城氏及、平戸高女阿部教

諭へ書面差出ス

三月十二日 火曜

金田助教授来所

大連高商試験監督謝礼金ヲ受ク

有富氏出勤

平戸町松浦家々扶ニ書面差出ス

三月十三日 水曜

金田助教授来所

長崎図書館長増田氏来所

西尾氏来所

原田囑託欠勤

三月十四日 木曜

金田助教授長崎縣出張ニ付、原田囑託同行ノ予

定ナリシモ、病氣ニ付代テ大谷囑託出張、日

曜迄

廣島文理大学ヨリ、当所見学之目的ヲ以テ清原

教授以下学生十一名来学之旨照会来ル

長沼教授病氣ニ付一同ヨリ見舞状ヲ差出ス

三月十五日 金曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

西尾氏来所

掃除夫ニ障子拭ヲナサシム

久留米篠山神社ニ借用図書返還ス

三月十六日 土曜

図書館ヨリ製本百有余冊到着

有富氏欠勤

三月十七日 日曜

岡部氏宿直

三月十八日 月曜

廣島文理大学清原教授以下学生拾一名及、史蹟

名勝天然記念物保存協会織田三郎治氏来所、檜

垣氏案内役

有富氏欠勤

松浦家別邸伊島執事、松平家管理所本末金城氏、

島原小学校林銑吉氏、神代小学校井口源四郎氏

宛礼状差出ス

縣社会教育課僚来所

西尾氏来所

金田助教授来所

田中助教授来所

三月十九日 火曜

長沼教授病氣臥床之由聞キシモ、本日出勤セラル

金田助教授来所

幽学荘舎へ図書送り返ス（長沼教授委托）

祐徳稲荷神社々務所へ借用之米政撮要（五冊）

返送ス

図書カードの整理ヲナス

図書館ヨリ大言海其他辞書類送り来ル

〔幽学荘舎宛「特殊郵便物受納証」の貼付有り〕

三月二十日 水曜

金田助教授来所

三月廿一日 木曜

春季皇霊祭二月休日

三月廿二日 金曜

金田助教授来所

原田・岡部嘱託、東亜同文書院ノ入試監督

岡部嘱託、午後重松教授之令嬢ノ葬式ニ手助フ

三月廿三日 土曜

西尾氏来所

本日俸給受日

岡部氏岡宿直

三月廿四日 日曜

三重高農入試ニ付、原田囑託出勤

三月廿五日 月曜

満洲医大入試ニ付、原田・岡部囑託監督

西尾氏来所

三月廿六日 火曜

満洲医大入試ニ付、原田・岡部囑託監督

原田囑託宿直

三月廿七日 水曜

西尾氏来所 茶買ふ

岡部囑託前日ニ引続キ満大の試験ニ手助ハル

三月廿八日 木曜

金田助教授来所

西尾氏来所 金田書店主来所

午後四時九大人試監督ノ件ニ付、演習室ニ於テ

協議会開催、原田、大谷・岡部囑託出席

三月廿九日 金曜

西尾氏来所

三月三十日 土曜

年度末賞与発令

三月三十一日 日曜

本学部入学試験、四月二日迄挙行

右ニ付原田・岡部囑託参加

四月一日 月曜

原田・岡部囑託引続キ参加

大谷囑託欠席

西尾氏来所

岡部囑託、大谷氏欠勤ニ付代直

四月二日 火曜

大谷囑託欠席

四月三日 水曜

神武天皇祭ニ付休日

原田囑託宿直

四月四日

大谷氏出勤

四月五日 金曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

寒氣甚シ、大風強シ

金田助教授来所

四月六日 土曜

今日モ風寒シ

金田助教授来所

四月八日 月曜

有吉憲彰氏（材木町三）来所、軸物持帰ラル

午後五時、中山主事補ノ送別会一同出席

四月九日 火曜

金田助教授来所

図書館ヨリ同館洋書目錄三冊送引来ル

四月十日 水曜

西尾氏来所

四月十一日 木曜

<sup>三重高農</sup>帝大試験監督ニ付、金宅封頂ク

四月十二日 金曜

印刷所来所

大谷囑託宿直

四月十三日 土曜

有富氏欠勤

四月十四日 日曜

四月十五日 月曜

原田囑託早引

四月十六日 火曜

金田助教授来所

四月十七日 水曜

金田助教授来所

原田囑託早引

四月十八日 木曜

無特記事

四月十九日 金曜

無特記事

四月二十日 土曜

金田助教授来所

四月二十二日 月曜

無記事

大谷氏宿直

四月二十三日 火曜

退庁後、所内茶話会

金谷田助教授来所

四月二十四日 水曜

金田助教授来所

中野主任より電話にて紙使用之儀に付注意

西尾氏来所

四月廿五日 木曜

靖国神社臨時大祭に付休日

四月廿六日 金曜

無特記事

図書館より映写巻物ノ古文書（写本）三十箱送

り来ル

四月廿七日 土曜

金田助教授来所

四月廿八日 日曜

四月廿九日 月曜

天長節儀式ニ原田囑託出席

大谷囑託宿直

四月三十日 火曜

福岡聯隊招魂祭に付、午後交替にて随時参拝

五月一日 水曜

金田助教授来所

五月二日 木曜

有富氏欠勤

五月三日 金曜

無特記事

五月四日 土曜

金田助教授来所

五月六日 月曜

無特記事

五月七日 火曜

金田教授来所

退庁後金田教授榮進に付、三畏閣にて晩餐会

開催

五月八日 水曜

金田助教授来所

西尾氏来所

有富氏欠勤

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

五月九日 木曜

無特記事

五月十日 金曜

創立記念展覧会飾付二付、原田囑託午後会場二

行ク

原田囑託宿直

五月十一日 土曜

午前十時創立記念式挙行 出勤の捺印

原田・大谷・岡部囑託参列、休業

檜垣氏来所

五月十二日 日曜

創立記念展覧会開催（工学部）

五月十三日 月曜

無特記事

大谷氏宿直

五月十四日 火曜

幽学荘舎ニ長沼教授ノ委託ニヨリ古文書送り返ス

有富氏欠勤

金田教授来所

五月十五日 水曜

本学部入学試験監督手当受領

五月十六日 木曜

舟橋政務次官、荒川総長、松濤学部長ノ案内ニ

テ来所

五月十七日 金曜

金田教授来所

五月十八日 土曜

無特記事

五月十九日 日曜

九大運動会挙行

五月二十日 月曜

無特記事

五月二十一日 火曜

金田教授来所

五月二十二日 水曜

青少年学徒勅語下賜記念式挙行後、箱崎宮・香

椎宮参拝、原田囑託・岡部囑託、参加

金田教授来所

五月廿三日 木曜

無特記事

五月廿四日 金曜

無特記事

長沼教授ノ命ニ依リ図書館ニ寄贈本ヲ送ル

五月廿五日 土曜

原田囑託欠勤

金田教授来所

五月廿七日 月曜

西尾氏来所

五月廿八日 火曜

海軍記念日ニ付、午後随時参拜

遠藤助教授葬式ニ付、大谷囑託、同家ニ加勢ニ

行ク

金田教授来所

巖原町宗家々職小田安太郎氏来所

五月廿九日 水曜

有富氏欠勤

原田囑託宿直

長沼教授委託ニ依リ啓文閣（横浜中区山下町）  
ニ送本ヲ送り返ス

五月三十日 木曜

会計ヨリ半紙一束受取ル

五月三十一日 金曜

金田教授来所

退庁後歌会

六月一日 土曜

無特記事

六月三日 月曜

無特記事

六月四日 火曜

金田教授、本多豊津高女教諭来所

東雲堂主人来所

六月五日 水曜

無特記事

六月六日 木曜

無記事

神吉氏来所

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

六月七日 金曜

大谷囑託宿直

金田教授来所

宮崎図書館宛、異国船漂流記返送ス

六月八日 土曜

無特記事、硝子注文

金田教授来所

六月十日 月曜

一天皇陛下伊勢神宮外宮御親拝二付、其時刻ヲ

見計ラヒ遙拝ス

午前十一時十二分、午后一時五十四分

一、テーブルグラス事務室へ受取ル

六月十一日 火曜

一金田教授来所

六月十二日 水曜

金田教授来所

六月十三日 木曜

大谷囑託欠勤

六月十四日 金曜

無記事

六月十五日 土曜、久しぶり雨降ル

無記事

退庁後金田教授来所

六月十六日<sup>七</sup> 月曜

檜垣氏来所

六月十八日 火曜

原田囑託欠勤

金田教授来所

六月十九日 水曜

原田囑託宿直

金田教授来所

六月二十日 木曜

岡部囑託宿直

六月二十一日 金曜

無記事

六月二十二日 土曜

無記事

六月二十三日 日曜

原田囑託宿直

六月二十四日 月曜

無記事

六月二十五日 <sup>六</sup>火曜

金田教授来所

茶話会、三畏閣

六月二十五日 火曜

無記事

六月二十七日 木曜

無記事

六月二十八日 金曜

臨時手当ノ辞令ヲ受ク

大谷囑託宿直

六月二十九日 土曜

無記事

七月一日 月曜

無記事

七月二日 火曜

臨時手当金受領

金田教授来所

七月三日 水曜

金田教授来所

七月四日 木曜

原田囑託早引

大谷囑託宿直、中野主任来所

七月五日 金曜

金田教授来所

高木部長新任招待宴ニ出席

七月六日 土曜

高木部長来所

七月七日 日曜

支那事変三週年記念式慰霊祭、原田囑託出席

七月八日 月曜

無記事、事務室雇山本留次郎氏死去ニ付火葬ニ

参加ス

七月九日 火曜

無記事

七月十日 水曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

金田教授来所

七月十一日 木曜

無記事

七月十二日 金曜

暑氣烈し

元美学雇伊藤氏来所

故山本留次郎氏葬儀執行二付会葬

岡部氏宿直

七月十三日 土曜

原田囑託欠勤

七月十四日 日曜

岡部氏宿直

七月十五日 月曜

無記事

七月十六日 火曜

金田教授来所

有富氏早引

七月十七日 水曜

無記事

七月十八日 木曜

無記事

七月十九日 金曜

々

七月二十日 土曜

金田教授来所

七月二十二日 月曜

原田囑託賜暇

七月二十三日 火曜

風涼し、給料日

金田教授ヨリ電話アリ

七月二十四日 水曜

雨降ルコト甚シ

七月二十五日 木曜

天気快晴

金田教授来所

七月二十六日 金曜

原田囑託賜暇

七月二十七日 土曜

無記事

七月二十八日 日曜

大谷氏宿直

七月二十九日 月曜

大谷氏前日宿直ニ付午後退庁

原田囑託有富氏欠勤

七月三十日 火曜

原田囑託賜暇有富氏欠勤

岡部囑託宿直

七月三十一日 水曜

無記事

<sup>八</sup>七月一日 木曜

原田囑託宿直

八月二日 金曜

原田囑託前日宿直ニ付午後退庁

八月三日 土曜

無記事

金田教授来所

八月五日 月曜

原田囑託賜暇

八月六日 火曜

原田囑託賜暇

八月七日 水曜

岡部囑託賜暇

大谷囑託宿直

金田教授来所

罰帳其他写本四十三冊図書館ニ送ル

金田教授来所

八月八日 木曜

原田囑託賜暇

大谷囑託前日宿直ニ付午後退庁

八月九日 金曜

無記事

西尾氏来所

八月十日 土曜

無記事

井上豊中教諭来所

八月十二日 月曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

有富氏欠勤

岡部囑託宿直

八月十三日 火曜

原田囑託賜暇

岡部囑託前日宿直ニ付午後早退

八月十四日 水曜

原田囑託賜暇

原田・岡部囑託賜暇

八月十五日 木曜

原田・岡部囑託賜暇

大谷囑託宿直

八月十六日 金曜

原田囑託賜暇

大谷囑託前日宿直ニ付午後早退

八月十七日 土曜

有富氏欠勤

八月十九日 月曜

岡部囑託東京市ニ旅行月末迄

大谷囑託賜暇、金曜迄

金田教授来所

八月二十日 火曜

林田助教授来所

八月二十一日 水曜

原田囑託宿直

八月二十二日 木曜

林田助教授来所

金田・田中両教授来所

八月廿三日 金曜

無特記事

八月廿四日 土曜

大谷囑託出勤

有富氏欠勤

八月廿六日 月曜

金田教授来所

八月廿七日 火曜

金田教授来所

大谷囑託賜暇、木曜迄

八月廿八日 水曜

無記事

八月廿九日 木曜

無記事

八月卅日 金曜

林田助教授来所

大谷氏出勤

八月卅一日 土曜

大谷氏出勤

有富氏欠勤

九月一日 日曜

原田囑託出勤

九月二日 月曜

本日ヨリ岡部囑託出勤

暑気盛返ス

九月三日 火曜

暑気盛返ス

大谷氏、経済史資料整理ニ係ル

九月四日 水曜

金田教授来所、防空演習第一日

九月五日 木曜

防空訓練第二日

原田囑託欠勤

九月六日 金曜

防空演習第三日

九月七日 土曜

有富氏欠勤

粟生又太郎氏来所

九月九日 月曜

金田教授、中野主任来所

岡部囑託宿直

九月十日 火曜

原田囑託早引

九月十一日 水曜

原田囑託宿直

二百二十日前日暴風雨ノ兆アリ、夕方ヨリ風烈シ

九月十二日 木曜

平静ナル

史料編纂官相田二郎氏来所

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

竹岡教授ト共ニ

九月十三日 金曜

金田教授来所

長沼教授来所、備中国乙島文書中宗門人名別帳

冊数調

五十九冊

概数 紙数約六、〇〇〇枚

九月十四日 土曜

金田教授来所

九月十五日 日曜

原田囑託・岡部囑託・有富氏ト金田教授ニ随行

シテ、糸島郡前原町ニ古書採訪ニ出ル

重富家感牒記備考 一冊 由比泰介氏ニ借用ス

九月十六日 月曜

無記事

廣瀬文書ヲ送り返ス

九月十七日 火曜

金田教授来所

先日採訪前原町関係者ニ礼状發送

九月十八日 水曜

大谷囑託有富氏欠勤

前原町由比泰介宛借用証發送

九月十九日 木曜

有富氏欠勤

伊東尾四郎氏来所

九月二十日 金曜

無記事

九月二十一日 土曜

無記事

午後於三畏閣、事務者茶話会

有富氏欠勤

九月二十三日 月曜

秋季皇靈祭ニ付休日、大谷囑託宿直

九月二十四日 火曜

金田教授来所

原城陣取図其他<sup>二</sup>三枚<sup>一</sup>図書館ニ送ル

給料支給

九月二十五日 水曜

無記事

九月二十六日 木曜

（乙島文書謄写用紙一、四八一受）

古野家蔵書（写本ノ部）目錄作製

九月二十七日 金曜

金田教授来所

九月二十八日 土曜

大谷囑託宿直（原田居残写本）

九月三十日 月曜

午後四時ヨリ大会議室ニ於テ勤労集団訓練ノ件

ニツキ協議会開催

十月一日 火曜

防空訓練日第一日

午後六時迄居残

十月二日 水曜

防空訓練日第二日

仮想 心理学教室中屋根ニ焼夷彈落下ニ対スル

綜合訓練実施

原田・岡部囑託宿直

十月三日 木曜

防空訓練日第三日

仮想 学生集会所前ニ焼夷彈落下ニ対スル綜合

訓練実施

十月四日 金曜

防空訓練日第四日

仮想 心理学教室前、学生集会所前ニ各種投下

彈アリ綜合訓練実施、本部統監部

岡部囑託午後八時迄居残り

大谷囑託午后四時〆一応帰宅、午後八時出勤宿直

十月五日 土曜

防空訓練日第五日

午前五時三十分空襲警報ト同時ニ原田囑託学校

ニ馳付ク

有富氏欠勤

金田教授来所

十月六日 日曜

集団訓練日

原田・大谷・岡部囑託出勤

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月〜十九年二月）について

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

十月七日 月曜

無記事

由比泰介宛文書送り返す

十月八日 火曜

無記事

十月九日 水曜

無記事

十月十日 木曜

長沼教授ヨリ朝鮮征伐当時ノ古城ノ測地圖十四

枚預ル

十月十一日 金曜

本日ヨリ右測地圖ノ映画ヲ初ム<sup>写</sup>

金田教授来所

岡部囑託宿直

十月十二日 土曜

無記事

午後零時半ヨリ事務一同ノ茶話会

十月十三日 日曜

岡部囑託宿直

十月十四日 月曜

原田囑託宿直

十月十五日 火曜

無記事

神吉氏来所

十月十六日 水曜

無記事

十月十七日 木曜

神嘗祭ニ付休日

十月十八日 金曜

靖國神社大祭ニ付休日

午前十時ヨリ右遙拝式挙行

原田囑託宿直

十月十九日 土曜

無記事

十月二十一日 月曜

本日ヨリ学期試験挙行、試験<sup>ス</sup>監督ニ出ル

十月二十二日 火曜

金田教授来所

大分第一高女十時英司氏ヨリ大分縣旧藩行政区

劃図送り来ル

給料日

十月二十三日 水曜

朝鮮役測地図影写終了

十月二十四日 木曜

金田教授来所

午休、大会議室ニテ事務一同協議会アリ

十月二十五日 金曜

無記事

十月二十六日 土曜

無記事

十月二十八日 月曜

金田教授来所

十月二十九日 火曜

無記事

図書館ヨリ九州各藩別地図（天明版）送り来ル

十月三十日 水曜

教育勅語渙発五十週年ニ相当ニツキ記念式挙行

有富氏欠勤

十月三十一日 木曜

無記事

十一月一日 金曜

無記事

十一月二日 土曜

金田教授来所

十一月三日 日曜

明治節儀式挙行

原田囑託参賀

十一月四日 月曜

岡部囑託宿直

十一月五日 火曜

無記事

大谷氏欠勤

十一月六日 水曜

金田教授東京出張先ニ母堂死去不幸ニ付弔電並

香典料ヲ送ル

十一月七日 木曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

原田囑託宿直

十一月八日 金曜

朝鮮役測地図、長沼教授ニ返ス

十一月九日 土曜

無記事

乙島文書筆写送ル

有富氏欠勤

十一月十日 日曜

紀元二千六百年記念式典施行ニ付原田囑託参列

十一月十一日 月曜

臨時休業

十一月十二日 火曜

朝鮮役測地図裏打ノ為メ図書館ニ送付ス

十一月十三日 水曜

無記事

十一月十四日 木曜

無記事

十一月十五日 金曜

大分縣旧藩領域図ヲ大分第一高女十時英司氏宛

返送ス

日田廣瀬氏来所

十一月十六日 土曜

無記事

十一月十七日 日曜

大谷氏宿直

十一月十八日 月曜

無記事

十一月十九日 火曜

金田教授久シク欠勤中ノ処<sup>来</sup>出所

十一月二十日 水曜

無記事

十一月二十一日 木曜

無記事

十一月二十二日 金曜

無記事

十一月二十三日 土曜

新嘗祭休日

十一月二十四日<sup>五</sup> 月曜

無記事

大谷・有富氏欠勤

十二月二十六日 火曜

金田教授来所

十二月二十七日 水曜

雇天野秀召集ニ付、午後四時半ヨリ大会議室ニ

於テ壮行送別会開催、原田・大谷・岡部参加

十二月二十八日 木曜

金田教授来所、後鏡山講師

十二月二十九日 金曜

岡部嘱託宿直

十二月三十日 土曜

有富氏欠勤

十二月二日 月曜

無記事

十二月三日 火曜

有富氏欠勤

金田教授来所

書籍六拾個受取

十二月四日 水曜

有富氏欠勤

新調ノ書籍ニ古記録ヲ蔵ス

十二月五日 木曜

有富氏欠勤

金田教授来所

賞与金発令

故西園寺公国葬ニ付代表者遙拜式挙行（休業ニ

アラス）

十二月六日 金曜

無記事、原田嘱託宿直

十二月七日 土曜

無記事、京大本庄栄次郎氏来所<sup>(注)</sup>

十二月九日 月曜

金田教授来所

大谷嘱託宿直

賞与金受取

檜垣氏来所

十二月十日 火曜

無記事

十二月十一日 水曜

無記事

十二月十二日 木曜

金田教授来所

岡部囑託宿直

十二月十三日 金曜

無記事

十二月十四日 土曜

無記事

十二月十五日<sup>六</sup> 月曜

鏡山講師来所

有富氏欠勤

十二月十七日 火曜

金田教授来所

有富氏欠勤

十二月十八日 水曜

無記事

十二月十九日 木曜

大谷囑託、有富氏欠勤

吉田囑託退職ニ付挨拶ニ見ユ

十二月二十日 金曜

大谷囑託、有富氏欠勤

〔<sup>鉛筆書</sup>瀧沢駒二郎ヨリ写本料送金シ来ル〕

十二月廿一日 土

有富氏欠勤

金田教授来所

十二月廿三日 月曜

有富氏早引

本日給料日 廿二日日曜

十二月廿四日 火曜

午后五時ヨリ本学部事務員ノ忘年会新三浦ニテ

開催、有富氏欠勤

金田教授来所

十二月廿五日 水曜

休日

十二月廿六日 木曜

金田教授来所

午後五時ヨリ共済組合ノ件ニツキ、助手・副手・事務員・傭員等ノ会合

午後六時ヨリ本所ノ忘年会中華園ニテ開催

十二月廿七日 金曜

金田教授来所

十二月廿八日 土曜

有富氏欠勤

原田囑託宿直

午前十一時ヨリ御用納ニツキ部長ヨリ挨拶アリ

十二月廿九日

十二月三十日

十二月三十一日

〔昭和十六年〕

昭和十六年一月一日 水曜

午前十時新年拝賀式挙行

原田・岡部囑託

岡部囑託宿直

一月二日 木曜

一月三日 金曜

原田囑託宿直

一月四日 土曜

午前九時御用始メノ挨拶アリ

午前十時半退庁

大谷、有富氏欠勤

一月六日 月曜

無記事

一月七日 火曜

有富氏欠勤

大谷囑託宿直

一月八日 水曜

無記事

一月九日 木曜

無記事

一月十日 金曜

無記事

一月十一日 土曜

大谷囑託、有富氏欠勤

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

金田教授来所

一月十三日 月曜

大谷氏欠勤

岡部嘱託早引

一月十四日 火曜

岡部嘱託、大谷嘱託欠勤

金田教授来所 有富氏に見舞品

一月十五日 水曜

大谷、岡部欠勤

一月十六日 木曜

大谷、岡部、有富欠勤

金田教授来所

一月十七日 金曜

大谷嘱託欠勤

一月十八日 土曜

無記事 大谷欠勤

一月二十日 月曜

大谷嘱託欠勤

一月二十一日 火曜

大谷嘱託欠勤

金田教授来所

一月二十二日 水曜

大谷嘱託欠勤

一月二十三日 木曜

大谷、有富氏欠勤

一月二十四日 金曜

大谷嘱託欠勤 大谷氏二見舞品

一月二十五日 土曜

大谷嘱託、有富氏欠勤

一月廿六日

一月廿七日 月曜

大谷嘱託欠勤

一月廿八日 火曜

大谷嘱託欠勤

金田教授来所

一月廿九日 水曜

大谷嘱託欠勤

金田教授来所 有富氏早引

一月三十日 木曜

一月卅一日 金曜

大谷囑託欠勤、有富氏モ

二月一日 土曜

大谷囑託、有富氏欠勤

岡部囑託宿直

二月二日 月曜

大谷囑託欠勤

金田教授来所

二月四日 火曜

大谷囑託欠勤

二月五日 水曜

大谷囑託欠勤

二月六日 木曜

大谷囑託欠勤

二月七日 金曜

大谷囑託欠勤

二月八日 土曜

大谷囑託欠勤、有富氏欠勤

二月十日 月曜

大谷囑託欠勤

（青鉛筆書）  
「金田教授来所」

二月十一日 火曜

紀元節儀式午前十時開式

原田囑託参賀

二月十二日 水曜

大谷囑託出勤

二月十三日 木曜

大谷囑託無記事  
~~~~~

二月十四日 金曜

無記事

二月十五日 土曜

無記事

二月十七日 月曜

有富氏欠勤

二月十八日 火曜

金田教授来所

二月十九日 水曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

金田教授来所

二月二十日 木曜

二月二十一日 金曜

無記事

二月二十二日 土曜

無記事

二月二十四日 月曜

二月二十五日 火曜

二月二十六日 水曜

二月二十七日 木曜

二月二十八日 金曜

影写台ノ見積ノ為家具店主来所

金田教授来所

三月一日 土曜

有富氏欠勤

三月三日 月曜

大谷囑託宿直

三月四日 火曜

三月五日 水曜

金田教諭教授来所

三月六日 木曜

金田教授来所

三月七日 金曜

金田教授来所

原田囑託宿直

三月八日 土曜

有富氏欠勤

三月九日 日曜

大連高商入試二付、原田・大谷・岡部囑託出勤

三月十日 月曜

無記事

三月十一日 火曜

有富氏欠勤

長沼教授来所

三月十二日 水曜

有富氏欠勤、原田囑託宿直

三月十三日 木曜

有富氏欠勤

三月十四日 金曜

三月十五日 土曜

金田教授来所

三月十七日 月曜

大連高商人試ノ謝礼金ヲ受ク

三月十八日 火曜

無記事

三月十九日 水曜

無記事

三月二十日 木曜

無記事

三月二十一日 金曜

春季皇霊祭ニ付休日

三月二十二日 土曜

無記事

三月二十四日 月曜

東亜東同文書院入試監督トシテ、原田・原田・

岡部囑託出勤 会計日

三月二十五日 火曜

無記事

三月二十六日 水曜

無記事

三月二十七日 木曜

卒業式挙行

金田教授来所

三月二十八日 金曜

無記事

三月二十九日 土曜

有富氏欠勤

三月三十一日 月曜

大学入試ニ付、原田・大谷・岡部囑託監督ニ参加ス

原田囑託宿直ノ筈ナリシモ小原助手ト交替

東亜同文書院謝礼金ヲ受ク（満洲医大モ共ニ）

年度末賞与金辞令ヲ受ク

四月一日 火曜

原田囑託宿直ノ筈ナリシモ岡部囑託ト交替

大学入試ニ付前日同様監督

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

四月二日 水曜

前日同様試験監督

四月三日 木曜

鹿兒島高商入試監督

原田・岡部囑託

四月四日 金曜

長沼教授来所

大谷囑託欠勤

四月五日 土曜

大谷囑託欠勤（宿直山口氏ト交替）

有富氏欠勤

四月六日^七 月曜

無特記事

四月八日 火曜

有富氏欠勤

鹿兒島高^ス商ノ謝礼金ヲ受ク

四月九日 水曜

栗村教授来所

四月十日 木曜

金田教授来所

影写台据置ク

四月十一日 金曜

無記事 長沼教授来所

四月十二日 土曜

影写台ニ電燈設備ヲナス

大谷囑託宿直

四月十四日 月曜

無特記事

四月十五日 火曜

金田教授来所

四月十六日 水曜

無記事 有富氏欠勤

四月十七日 木曜

無記事 有富氏欠勤

四月十八日 金曜

無記事 有富氏欠勤

四月十九日 土曜

金田教授来所 有富氏欠勤

原田囑託宿直

四月廿一日 月曜

無記事

四月廿二日 火曜

金田教授来所

四月廿三日 水曜

無記事

四月廿四日 木曜

無記事

四月廿五日 金曜

靖國神社臨時大祭二付休業

四月廿六日 土曜

無記事

四月廿七日 日曜

原田囑託宿直

四月廿八日 月曜

九大入試手当交付セラル

無記事

四月廿九日 火曜

天長節儀式原田囑託参列

四月三十日 水曜

九大入試手当交付セラル

五月一日 木曜

昨日今日ハ福岡部隊ノ招魂祭ナレトモ都合ニ依

リ自由参拝無シ

五月二日 金曜日

無特記事

五月三日 土曜日

原田囑託、有富氏欠勤

五月五日 月曜

原田囑託欠勤

荒川総長、高木部長、長沼教授、其他随員所内

巡視

五月六日 火曜

原田囑託欠勤

金田教授来所

五月七日 水曜

無記事 岡村部宿直

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

五月八日 木曜

國史科学生数名、古記録謄写作业

鏡山講師来所

福日新聞社高口記者来所
~~~~~

五月九日 金曜

福日新聞記者高口氏来所

五月十日 土曜

原田囑託病氣之為欠勤

五月十二日 月曜

原田囑託引続キ十六日迄欠勤

五月十三日 火

五月十四日 水

五月十五日 木

五月十六日 金

五月十七日 土

原田囑託本日ヨリ出勤

有富氏欠勤 大日本地名辞書図書館ヨリ来ル

五月十八日 日曜

大学創立記念展覧会開催ニ付、原田・大谷・岡

部囑託出勤

五月十九日 月曜

無特記事

五月二十日 火曜

原田囑託宿直

金田教授、新谷九郎氏来所

五月二十一日 水曜

金田教授来所

五月二十二日 木曜

午前八時ヨリ工学部グラウンドニ於テ青少年学

徒ニ賜リタル勅語奉読式挙行、原田囑託参加

法文会主催三苦浜ニテ蕁狩ニ付、大谷囑託出席

五月二十三日 金曜

無記事

五月二十四日 土曜

金田教授来所

〔<sup>〔欄外〕</sup>五月廿五日（日）〕

〔<sup>〔欄外〕</sup>岡部宿直〕

五月廿六日 月曜

昭和16年（1941）

原田囑託欠勤

五月廿七日 火曜

金田教授来所

有富氏欠勤

大谷囑託宿直

五月廿八日 水曜

無記事

有富氏欠勤

五月廿九日 木曜

金田教授来所

五月卅日 金曜

無記事

五月卅一日 土曜

金無記事

六月一日 日曜

大谷囑託宿直

六月二日 月曜

有富氏欠勤

岡部囑託宿直

六月三日 火曜

無記事

六月四日 水曜

金田教授来所

有富氏欠勤

原田囑託宿直

六月五日 木曜

金田教授来所

六月六日 金曜

無記事

六月七日 土曜

無記事

六月九日 月曜

岡部囑託欠勤

井上忠氏来所

長沼教授来所

六月十日 火曜

無記事

六月十一日 水曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

金田教授来所

有富氏欠勤

一、本日ヨリ入梅、雨降ル

六月廿三日 月曜

六月十二日 木曜

無記事

金田教授来所

六月廿四日 火曜

六月十三日 金曜

金田教授来所

無記事

原田囑託宿直

六月十四日 土曜

六月廿五日 水曜

無記事

無記事

六月十六日 月曜

六月廿六日 木曜

無記事

有富氏欠勤、降雨甚シ

六月十七日 火曜

岡部氏宿直

有富氏欠勤

六月廿七日 金曜

六月十八日 水曜

無記事、降雨甚シ

金田教授来所

六月廿八日 土曜

六月十九日 木曜

有富氏欠勤

金田教授来所

六月三十日 月曜

六月二十日 金曜

臨時賞与ノ発令

無記事

七月一日 火曜

六月廿一日 土曜

有富氏欠勤

金田教授来所

七月二日 水曜

岡部氏欠勤

金田教授来所

七月三日 木曜

無記事

七月四日 金曜

無記事

瀧沢青年学校長瀧沢脩<sup>（修）</sup>作氏来所

七月五日 土曜

有富氏欠勤

七月七日 月曜

無記事

七月八日 火曜

有富氏欠勤、大谷氏宿直

七月九日 水曜

無記事

七月十日 木曜

有富氏欠勤

七月十一日 金曜

有富氏欠勤

金田教授来所

七月十二日 土曜

無記事

七月十三日<sup>四</sup> 月曜

無記事

七月十五日 火曜

無記事

七月十六日 水曜

岡部嘱託宿直

金田教授来所

七月十七日 木曜

長沼教授来学ニ付種々打合ヲナス

七月十八日 金曜

原田嘱託宿直

七月十九日 土曜

有富氏欠勤

七月二十一日 月曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

無記事

七月二十二日 火曜

金田教授来所

七月廿三日 水曜

岡部賜暇

有富氏欠勤

七月廿四日 木曜

岡部嘱託賜暇

有富氏欠勤

大谷氏宿直

七月廿五日 金曜

有富氏欠勤

七月廿六日 土曜

有富氏欠勤

七月廿八日 月曜

無記事

七月廿九日 火曜

無記事

七月三十日 水曜

無記事

七月三十一日 木曜

無記事

八月一日 金曜

無記事

八月二日 土曜

金田教授来所

八月四日 月曜

金田教授来所

岡部嘱託賜暇、有富氏欠勤

八月五日 火曜

岡部嘱託賜暇

八月六日 水曜

金田教授来所

八月七日 水曜

蒸暑シ 高口氏来所

農学部木村教授来所

八月八日 金曜

鏡山講師来所

八月九日 土曜

金田教授来所

有富氏欠勤

八月十一日 月曜

長沼教授、木村農学部教授、鏡山講師来所

午後金田教授来所

〔欄外〕  
「原田宿直」

八月十二日 火曜

無記事 日田市廣瀬氏来所

八月十三日 水曜

金田教授来所

岡部嘱託賜暇

有富氏欠勤

八月十四日 木曜

金田教授来所

岡部嘱託賜暇、有富氏欠勤

八月十五日 金曜

原田・岡部嘱託賜暇

有富氏欠勤

八月十六日 土曜

有富氏欠勤

大谷嘱託宿直

八月十七日 日曜

岡山縣花田一重氏、瀧沢修作氏、瀧沢駒次郎氏

来学二付、原田嘱託来所

八月十八日 月曜

前日二引続キ花田、瀧沢両氏来学

八月十九日 火曜

原田嘱託賜暇

八月二十日 水曜

無記事

八月廿一日 木曜

金田教授来所 歌会

八月廿二日 金曜

無記事

八月廿三日

金田教授来所

八月廿四日 日曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

岡部囑託宿直

八月廿五日 月曜

無記事

八月廿六日 火曜

大谷囑託旅行

岡部囑託賜暇

八月廿七日 水曜

岡部囑託賜暇

八月廿八日 木曜

金田教授視カル

八月廿九日 金曜

無記事

八月三十日 土曜

無記事

九月一日 月曜

金田教授来所

九月二日 火曜

無記事

九月三日 水曜

無記事 大谷氏より電報着

九月四日 木曜

無記事

九月五日 金曜

無記事

九月六日 土曜

午前十一時半ヨリ大会議室ニ於テ、集團勤勞ノ件ニ付協議会開催

〔<sup>欄外</sup>岡部囑託宿直〕

九月七日 日曜

九月八日 月曜

本学部集團勤勞奉仕作業トシテ護国神社敷地ニテ施行、原田・岡部両囑託参加

大谷囑託一寸出勤アリシ由

有富氏欠勤

九月九日 火曜

大谷、有富氏欠勤（十九日迄）

九月十日 水曜

前日同様欠勤

九月十一日 木曜

二百二十日平穩

金田教授来所

前日同様欠勤

九月十二日 金曜

大谷嘱託欠勤

製本スベク写本、図書館へ送附ス

九月十三日 土曜

大谷嘱託欠勤

原田嘱託退庁後居残ル

九月十四日 日曜

原田嘱託宿直

九月十五日 月曜

大谷嘱託欠勤

金田教授来所

九月十六日 火曜

無記事

九月十七日 水曜

無記事

九月十八日 木曜

午后三時四十分ヨリ大会議室ニ於テ、法文学部

国民貯蓄組合設立ノ件ニ付協議会開催

九月十九日 金曜

無記事

九月二十日 土曜

大谷嘱託本日ヨリ出勤

九月廿二日 月曜

有富氏欠勤

九月廿三日 火曜

秋季皇霊祭 休業

九月廿四日 水曜

原田嘱託宿直

九月廿五日 木曜

無記事

九月廿六日 金曜

無記事

九月廿七日 土曜

有富氏欠勤

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

大谷囑託宿直

九月廿九日 月曜

有富氏欠勤

九月三十日 火曜

長沼教授来所

十月一日 水曜

無記事、颱風襲来、有富氏欠勤

十月二日 木曜

金田教授来所

有富氏欠勤

十月三日 金曜

無記事

十月四日 土曜

金田教授来所

有富氏欠勤

十月六日 月曜

有富氏病氣二付早引

十月七日 火曜

有富氏、大谷囑託欠勤

十月八日 水曜

大谷、岡部囑託欠勤

東京府立第<sup>（一火力）</sup>中学校へ倭寇ノ碑文送付

十月九日 木曜

金田教授来所

大谷囑託欠勤

十月十日 金曜

金田教授来所

歌会開催

十月十一日 土曜

有富氏欠勤

十月十二日 月曜

大谷囑託欠勤

岡部囑託宿直

十月十四日 火曜

大谷囑託欠勤

原田囑託宿直

伊奈明善中学教諭来所

金田教授来所

十月十五日 水曜

大谷囑託欠勤

十月十六日 木曜

有富氏欠勤、大谷囑託モ同様

十月十七日 金曜

神嘗祭ニ付休業

十月十八日 土曜

靖国神社大祭ニ付遙拝式執行、原田囑託参列

休業

午前十一時ヨリ学内防空綜合訓練アリ

十月十九日 日曜

本日モ引続キ防訓アリ、原田・岡部囑託出勤

十月二十日 月曜

大谷囑託本日ヨリ出勤

十月二十一日 火曜

無記事、大谷囑託宿直

十月二十二日 水曜

学期試験ニ付監督之為メ左之通

午前九時ヨリ二時間 原田囑託

午后二時半ヨリ四時半 岡部囑託

岡部囑託宿直

十月二十三日 木曜

無記事

十月二十四日 金曜

原田囑託試験監督

十月二十五日 土曜

原田囑託宿直

有富氏欠勤

十月二十七日 月曜

金田教授来所

大谷囑託欠勤

十月二十八日 火曜

大谷囑託、有富氏欠勤

十月二十九日 水曜

大谷囑託、有富氏欠勤

十月三十日 木曜

大谷囑託欠勤

十月三十一日 金曜

大谷囑託、有富氏欠勤

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

十一月一日 土曜

大谷嘱託、有富筆耕欠勤

十一月二日 日曜

午前八時ヨリ勤勞作業

十一月三日 月曜

明治節

午前十時挙式、原田嘱託参列

十一月四日 火曜

金田教授来所

大谷嘱託、有富筆耕欠勤

十一月五日 水曜

大谷嘱託欠勤

十一月六日 木曜

大谷嘱託欠勤

十一月七日 金曜

大谷嘱託欠勤

北海道帝国大学附属図書館司書赤岩金太郎氏来所

金田教授来所

十一月八日 土曜

有富筆耕欠勤

大谷嘱託宿直

十一月十日 月曜

大谷嘱託欠勤

十一月十一日 火曜

大谷嘱託欠勤

金田教授来所

十一月十二日 水曜

大谷嘱託欠勤

金田教授来所

近日熊本・大分両縣出張二付、熊本図書館外二

出状

十一月十三日 木曜

無記事、大谷氏欠

十一月十四日 金曜

金田教授来所、大谷氏欠

十一月十五日 土曜

大谷氏欠

十一月十六日 日曜

岡部嘱託宿直

十一月十七日 月曜

大谷氏欠

十一月十八日 火曜

原田嘱託宿直、大谷氏欠、当分欠勤

十一月十九日 水曜

無記事

十一月二十日 木曜

金田教授来所

有富氏欠勤

十一月二十一日 金曜

無記事 歌会

金田教授来所

十一月二十二日 土曜

原田嘱託、大谷嘱託ノ給料持参

十一月二十四日 月曜

無記事

十一月二十五日 火曜

無記事

十一月二十六日 水曜

無記事

十一月二十七日 木曜

無記事

十一月二十八日 金曜

金田教授来所

大谷氏明日帰郷療養ノタメ来所

十一月二十九日 土曜

無記事、岡部嘱託宿直

十一月三十日 日曜

原田嘱託宿直

十二月一日 月曜

有富筆耕欠勤

十二月二日 火曜

大谷氏十一月分宿直料五〇銭ヲ十一月分会費ニ

充当ス

十二月三日 水曜

無記事

十二月四日 木曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

宗家藏書自一号至三二号問屋便二個箱入送付

ス（十二月十六日）

十二月五日 金曜

賞与金辞令受ク

十二月六日 土曜

有富筆耕欠勤

岡部囑託宿直

十二月八日 月曜

有富筆耕欠勤

日英米戦開始之由ニュースアリ

十二月九日 火曜

有富筆耕欠勤

〔欄外〕原田囑託宿直〕

十二月十日 水曜

無記事

十二月十一日 木曜

原田囑託欠勤

有富筆耕欠勤

十二月十二日 金曜

無記事

十二月十三日 土曜

有富筆耕欠勤、金田教授来所

十二月十五日 月曜

臼杵図書館へ借本送返ス

十二月十六日 火曜

無記事

十二月十七日 水曜

無記事

十二月十八日 木曜

金田教授来所

十二月十九日 金曜

金田教授来所

十二月二十日 土曜

有富筆耕欠勤 賞与発令  
~~~~~

十二月二十二日 月曜

無記事

十二月二十三日 火曜

会計日

白杵図書館ヨリ圖書送リ来ル

十二月二十四日 水曜

無記事

十二月二十五日 木曜

十二月二十六日 金曜

金田教授来所

十二月二十八日^七 土曜

金田教授来所

卒業式挙行

十二月二十九日 月曜

午後退庁（研究室ノミ）

十二月三十日

^{（部力）}
岡崎囑託宿直

十二月三十一日

〔昭和十七年〕

昭和十七年一月一日 木曜

午前九時半拝賀式挙行

原田囑託参列

一月二日 金曜

原田囑託宿直

一月三日 土

一月四日 日

一月五日 月

一月六日 火曜

皆出勤 午后二時退庁

所得金申告の事

一月七日 水曜

無記事

一月八日 木曜

岡部囑託欠勤 十日迄

金田教授来所

一月九日 金曜

金田教授来所

一月十日 土曜

有富氏欠勤

一月十二日 月曜

本日所得金申告書提出

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

一月十三日 火曜

金田教授来所

一月十四日 水曜

無記事、図書館ヨリ製本送り来ル

一月十五日 木曜

無記事

一月十六日 金曜

有富氏欠勤

一月十七日 土曜

岡部囑託宿直

一月十九日 月曜

無記事

一月二十日 火曜

原田囑託欠勤

一月二十一日 水曜

有富氏欠勤

一月二十二日 木曜

無記事

一月二十三日 金曜

金田教授来所

一月二十四日 土曜

有富氏欠勤

一月二十五日^六 月曜

岡部囑託欠勤

一月二十七日 火曜

岡部氏欠勤、原田囑託宿直

一月二十八日 水曜

岡部氏欠勤

一月二十九日 木曜

岡部氏、有富氏欠勤

一月三十日 金曜

岡部囑託欠勤

一月三十一日 土曜

原田囑託欠勤

二月二日 月曜

岡部囑託長女死去（縁付ク）ニ付中野主任卜原

田囑託悔云トシテ弔問

二月三日 火曜

有富^氏囑託欠勤

二月四日 水曜

無記事

二月五日 木曜

有富氏欠勤

岡山縣史 玉島高女瀧沢駒次郎氏宛返送

二月六日 金曜

無記事

二月七日 土曜

有富氏欠勤

二月九日 月曜

金田教授来所

二月十日 火曜

無記事

二月十一日 水曜

紀元節儀式ニ付、原田囑託参列

二月十二日 木曜

金田教授来所

有富氏欠勤

二月十三日 金曜

金田教授来所

有富氏欠勤

二月十四日 土曜

無記事

二月十六日 月曜

無記事

二月十七日 火曜

無記事 原田囑託宿直

二月十八日 水曜

大東亜戦第一次祝賀式挙行、於工学部グラウンド

式後、箱崎宮・香椎宮参拝 解散

二月十九日 木曜

原田囑託欠勤、岡部氏宿直

二月二十日 金曜

無記事

二月二十一日 土曜

無記事、金田教授来所

〔欄外〕
二十二日 日曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

〔欄外〕
「岡部氏宿直」

二月二十三日 月曜

原田囑託欠勤 給料日

二月二十四日 火曜

有富筆耕欠勤

小野氏応召ニ付事務員一同送別会開催、原田・

岡部出席

二月二十五日 水曜

鏡山講師再度応召ニ付壮行式挙行

原田囑託欠勤

二月二十六日 木曜

原田囑託早引

二月二十七日 金曜

学期末試験施行

試験監督ニ出ル

二月二十八日 土曜

有富筆耕欠勤

〔欄外〕
「二月一日」

〔欄外〕
「原田囑託、宮崎高農試験監督」

三月二日 月曜

有富氏欠勤

三月三日 火曜

長沼教授、金田教授来所

〔欄外〕
「吉利支丹三巻貸付」

三月四日 水曜

無特記事

三月五日 木曜

無特記事

三月六日 金曜

金田教授来所

三月七日 土曜

有富氏欠勤

三月九日 月曜

東亜同文書院ノ謝礼金ヲ受ク

岡部氏宿直

三月十日 火曜

無記事

三月十一日 水曜

無記事

〔欄外〕満洲医大入試監督〕

三月十二日 木曜

有富氏欠勤

波多野助手来所、宇佐小山田家文書二卷貸付、

十四日返

大東亜第二次戦捷祝賀日ナリ

三月十三日 金曜

有富氏欠勤

三月十四日 土曜

有富氏欠勤

金田教授来所

三月十六日 月曜

無記事

三月十七日 火曜

岡部囑託欠勤

金田教授来所

三月十八日 水曜

有富氏欠勤

満洲医大ノ謝礼金ヲ受ケ

長沼教授ヨリ吉利支丹文書返ル

三月十九日 木曜

無記事

三月二十日 金曜

有富氏欠勤

金田教授来所

原田囑託宿直

三月二十一日 土曜

春季皇霊祭ニ付休業

三月二十三日 月曜

鹿児島大連高商、三重高農入試監督

三月二十四日 火曜

三重高農入学試験ニ手助フ

金田教授来所 給料日

三月二十五日 水曜

年度末賞与辞令受領

金田教授来所 有富氏欠勤

三月二十六日 木曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

無記事

三月二十七日 金曜

有富氏欠勤

金田教授来所

三月二十八日 土曜

無記事

三月二十九日 日曜

原田囑託宿直

三月三十日 月曜

金田教授来所

三月三十一日 火曜

無記事 賞与金ヲ受ク

四月一日 水曜

金田教授来所 原田囑託宿直

有富氏欠勤

四月二日 木曜

無記事

四月四日 土曜

無記事

大連高商ノ試験手当貰フ

四月五日^六 月曜

有富氏欠勤、原田囑託十一迄欠勤

宮崎高農受試験手当受

四月七日 火

無記事

四月八日 水

后十二時十分ヨリ詔書奉読式

四月九日 木

戸棚見積

四月十日 金

無記事

四月十一日 土

原田囑託本日ヨリ出勤

有富氏欠勤

三重高農試験手当受

四月十三日 月

島井文書謄写ノ為メ、金田教授ト共ニ市記念館

ニ出ル

岡部囑託宿直、有富氏欠勤

四月十四日 火

無記事

四月十五日 水

金田教授来所

四月十六日 木

有富氏欠勤

四月十七日 金

金田教授来所

四月十八日 土曜

無記事

〔欄外〕
〔先王襲警報発令〕

四月二十日 月曜

有富氏欠勤

四月廿一日 火曜

東郷書記理学部ニ転任ニ付、大会議室ニテ送別

会開催

原田・岡部囑託参加

〔欄外〕
〔警戒警報発令〕

四月廿二日

非常持出ノ図書ヲ箱ニ納ム

四月廿三日 木曜

栗村教授亡夫人葬儀ニ付、岡部囑託手伝ニ出ラル

原田囑託宿直

有富筆耕欠勤

四月廿四日 金曜

有富筆耕欠勤

四月廿五日 土曜

靖國神社臨時大祭ニ付休業

遥拜式午前十時挙式、原田囑託出席

四月廿七日 月曜

有富筆耕欠勤

四月廿八日 火曜

無記事

四月廿九日 水曜

天長節儀式挙行

四月三十日 木曜

無記事

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

五
四月一日 金曜

金田教授来所

午后四時半ヨリ報國隊簡閲式挙行二付、原田・

岡部嘱託参加

五月二日 土曜

無記事

五月四日 月曜

金田教授来所

五月五日 火曜

無記事

五月六日 水曜

金田教授来所（歌会）

五月七日 木曜

有富氏欠勤

五月八日 金曜

久シク欠勤中ノ大谷嘱託今日ヨリ出勤

一、午后〇時十五分ヨリ詔書奉読式挙行

五月九日 土曜

有富氏欠勤

五月十一日 月曜

午前十時創立記念式挙行

有富氏、大谷嘱託欠席

五月十二日 火曜

無記事 金田教授来所

五月十三日 水曜

合屋武城氏来所

五月十四日 木曜

金田教授来所

有富氏欠勤

五月十五日 金曜

金田教授、毛利氏（戸畑九州専門）来所、有富

氏欠勤

五月十六日 土曜

無記事

五月十八日 月曜

原田嘱託宿直

有富氏欠勤

五月十九日 火曜

無記事

五月二十日 水曜

無記事

五月二十一日 木曜

午后三時ヨリ箱田部長ノ挨拶アリ

午后 時ヨリ先高木部長ノ送別会アリ

五月二十二日 金曜

一 午前八時半ヨリ青少年学徒ニ賜リタル勅語奉

読式挙行

終リテ午后二時ヨリ防空演習挙行

有富氏欠勤

五月二十三日 土曜

無記事

五月二十五日 月曜

無記事

五月二十六日 火曜

無記事

五月二十七日 水曜

金田教授来所

五月二十八日 木曜

無

午後四時ヨリ勤勞作業 研究室

五月二十九日 金曜

無記事

五月三十日 土曜

午後〇時半ヨリ勤勞作業

有富氏欠勤

五月三十一日 日曜

法文會■會小戸ニ開催

六月一日 月曜

本日ヨリ乙島宗門帳ノ統計ニカ、ル

有富氏欠勤

六月二日 火曜

有富氏欠勤

金田教授来所

六月三日 水曜

無記事

六月四日 木曜

有富氏欠勤

六月五日 金曜

金田教授来所

六月六日 土曜

有富氏欠勤

六月八日 月曜

無記事 詔書奉読式

六月九日 火曜

原田囑託宿直

宇佐文書ヲ鹿兒島師範波多野氏へ送ル

六月十日 水曜

有富氏欠勤

六月十一日 木曜

崎津村ノ宗門帳統計了ル

六月十二日 金曜

岡部囑託宿直

有富氏欠勤

六月十三日 土曜

有富氏欠勤

六月十五日 月曜

無記事

六月十六日 火曜

無記事

六月十七日 水曜

金田教授来所

六月十八日 木曜

無記事

六月十九日 金曜

有富氏欠勤

六月二十日 土曜

有富氏欠勤

六月二十二日 月曜

金田教授来所

六月二十三日 火曜

無記事

六月二十四日 水曜

無記事

六月二十五日 木曜

無記事

六月二十六日 金曜

写本戸棚整理

六月二十七日 土曜

有富氏欠勤

六月二十八日 日曜

原田囑託宿直

六月二十九日 月曜

無特記事

六月三十日 火曜

岡部囑託宿直

賞与発令

有富氏欠勤

七月一日 水曜

原田囑託宿直

七月二日 木曜

岡部囑託欠勤

七月三日 金曜

無記事

七月四日 土曜

有富氏欠勤

七月五日 日曜

岡部囑託宿直

七月六日 月曜

金田教授来所

七月七日 火曜

無記事 大谷囑託宿直

七月八日 水曜

無記事

七月九日 木曜

無記事

七月十日 金曜

無記事

退庁後勤労作業

七月十一日 土曜

無記事 有富氏欠勤

七月十三日 月曜

有富氏欠勤

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

七月十四日 火曜

有富氏欠勤

金田教授来所 高木先生指導のもとに和歌会

を開く

七月十五日 水曜

中央社会事業協会松本征二氏来学

玉島五人組帳ノ件ニ付交渉アリ

七月十六日 木曜

有富氏欠勤

七月十七日 金曜

無記事

七月十八日 土曜

大谷囑託、有富氏欠勤

七月十九日

七月二十日 月曜

無記事

七月二十一日 火曜

無記事

七月二十二日 水曜

無記事

七月二十三日 木曜

無記事

七月二十四日 金曜

大谷囑託欠勤 病氣

〔^{欄外}原田囑託宿直〕

七月廿五日 土曜

大谷囑託、有富氏欠勤

七月廿七日 月曜

大谷囑託欠勤

〔^{欄外}岡部囑託宿直〕

七月廿八日 火曜

神宮皇学館新見忠之氏来所

大谷囑託欠勤

七月廿九日 ^水金曜

大谷囑託出席 ^欠宿直

七月三十日 木曜

大谷囑託本日出勤 宿直

有富氏欠勤

七月三十一日 金曜

無記事 俳句会

八月一日 土曜

有富氏欠勤

八月三日 月曜

無記事

八月四日 火曜

無記事

八月五日 水曜

無記事

八月六日 木曜

有富氏欠勤

八月七日 金曜

有富氏欠勤

八月八日 土曜

無記事

八月十日 月曜

有富氏欠勤

原田囑託宿直

岡

八月十一日 火曜

岡部囑託賜暇、土曜迄

八月十二日 水曜

有富氏欠勤

八月十三日 木曜

無記事

八月十四日 金曜

有富欠勤、大谷氏宿直

八月十五日 土曜

有富氏欠勤

八月十七^六 日曜

大谷囑託宿直

八月十七日 月曜

有富氏欠勤

八月十八日 火曜

無記事

八月十九日 水曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

無記事

八月二十日 木曜

無記事

大谷囑託欠勤（簡閲点呼）

八月廿一日 金曜

無記事

八月廿二日 土曜

無記事

八月廿三^四 月曜

無有富氏欠勤

八月廿五日 火曜

有富氏欠勤

八月廿六日 水曜

藤井甚太郎氏来所

八月廿七日 木曜

暴風雨来ル

有富氏欠勤

八月廿八日 金曜

有富氏欠勤

午後四時ヨリ大会議室ニテ協議会

八月廿九日 土曜

有富氏欠勤

八月卅一日 月曜

無記事

九月一日 火曜

無記事

九月二日 水曜

無記事

九月三日 木曜

無記事

九月四日 金曜

無記事

九月五日 土曜

有富氏欠勤

岡部囑託宿直

九月七日 月曜

有富氏欠勤

原田囑託宿直

九月八日 火曜

有富氏欠勤

大詔奉戴日詔書奉読式挙行

九月九日 水曜

無記事

九月十日 木曜

有富氏欠勤

九月十一日 金曜

有富氏欠勤

九月十二日 土曜

有富氏欠勤

九月十四日 月曜

大谷、有富氏欠勤

金田教授来所、九月
十五日 火曜

九月十五日 火曜

金田教授来所

有富氏欠勤

九月十六日 水曜

金田教授来所

有富氏早退

九月十七日 木曜

大谷・有富両氏欠勤

九月十八日 金曜

大谷、有富氏欠勤

市社会教育課手原賢二氏来所

〔^{欄外}岡部氏宿直〕

九月十九日 土曜

大谷・有富氏欠勤

九月廿一日 月曜

大谷・有富氏欠勤

九月廿二日 火曜

大谷氏欠勤

九月廿三日 水曜

大谷氏欠勤

九月廿四日 木曜

秋季皇霊祭二付休業

九月廿五日 金曜

大谷、有富欠勤

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

九月廿六日 土曜

大谷・有富欠勤

九月廿七日^ハ 月曜

大谷氏欠勤

有富氏退職ノ旨申出デラル

金子田教授ニ挨拶アリ

九月廿九日 火曜

大谷氏欠勤、岡部囑託宿直

九月三十日 水曜

大谷氏欠勤

金田教授来所

原田囑託宿直

十月一日 木曜

大谷氏欠勤 藤井甚太郎氏ニ書籍返す

十月二日 金曜

大谷氏欠勤

十月三日 土曜

入学式挙行

大谷氏欠勤

十月四日^五 月曜

大谷氏欠勤

高木教授来所

十月六日 火曜

大谷氏欠勤

十月七日 水曜

大谷氏欠勤

十月八日 木曜

有富筑太郎氏来所

詔書奉読式挙行

十月九日 金曜

原田囑託欠勤

大谷氏欠勤

十月十日 土曜

大谷氏欠勤 下宿屋主人尋ニ来ル

今後大谷氏欠勤見込立タズ記才セズ

十月十二日 月曜

特記事ナシ

十月十三 火曜

特記事ナシ

十月十四日 水曜

無記事

十月十五日 木曜

無記事

十月十六日 金曜

靖国神社大祭ニツキ休業

十月十七日 土曜

神嘗祭ニツキ休業

十月十八日 日曜

原田囑託宿直

十月十九日 月曜

廣島文理大ヨリ本月廿六日清原教授引率ノ下ニ

学生来所ノ旨照会アリ

十月二十日 火曜

無記事

十月廿一日 水曜

一、有富筑太郎氏来所

一、東京中央社会事業協会糸賀三郎氏来所

一、原田囑託本日ヨリ廿六日迄欠勤

十月廿二日 木曜

無記事

十月廿三日 金曜

岡部宿直

十月廿四日 土曜

無記事

十月廿五日 日曜

宿直岡部囑託

十月廿六日 月曜

廣島文理科大学清原教授外学生八名来所、井上

副手説明

十月廿七日 火曜

原田囑託本日ヨリ五日間京都帝大へ出張

金田教授来所

十月廿八日 水曜

十月廿九日 木曜

十月三十日 金曜

十月三十一日 土曜

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

無記事

十一月二日 月曜

原田囑託本日ヨリ出勤

本日ヨリ退庁時間一時間延長

十一月三日 火曜

明治節儀式挙行、午前第十一時、原田・岡部囑託参列

十一月四日 水曜

無記事

十一月五日 木曜

勤労作業（稲刈）ノ件ニ付、大会議室ニ関係者集合打合会アリ

原田囑託出席

十一月六日 金曜

金田教授来所

十一月七日 土曜

学生仲原村勤労作業ニ付、原田囑託参加

十一月八日 月曜

金田教授来所

原田囑託宿直

十一月十日 火曜

金田教授来所

岡部囑託欠勤

十一月十一日 水曜

金田教授来所

十一月十二日 木曜

無記事

十一月十三日 金曜

福高商青木教授来所

十一月十四日 土曜

無記事 岡部囑託宿直

十一月十五日 日曜

本学部事務職員、四王寺山ニ遠足会、岡部囑託参加

参加

十一月十六日 月曜

原田囑託宿直

十一月十七日 火曜

無記事

十一月十八日 水曜

無記事

十一月十九日 木曜

金田教授来所

十一月二十日 金曜

無記事

十一月二十一日 土曜

無記事

十一月二十三日 月曜

新嘗祭ニ付休業

十一月二十四日 火曜

金田教授来所

高木教授々

十一月廿五日 水曜

小原助手来所

十一月廿六日 木曜

無記事

十一月廿七日 金曜

寒気強シ

十一月廿八日 土曜

無特記事

十一月卅日 月曜

無記事

十二月一日 火曜

金田教授来所

十二月二日 水曜

無記事

十二月三日 木曜

岡部囑託欠勤

十二月四日 金曜

無記事

十二月五日 土曜

年末賞与ノ辞令交付アリ

有富筑太郎氏来所

十二月七日 月曜

寒気凜烈、岡部囑託出宿直

十二月八日 火曜

大東亜戦一週年記念式、午前九時半ヨリ工学部

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

グラウンドニテ挙行

報国隊視閲式

午後一時ヨリ慰霊祭、医学部講堂ニテ四時頃ヨ

リ退庁

十二月九日 水曜

原田囑託宿直

金田教授来所

本日ヨリスチーム入ル、明日迄試験ノ為メ

十二月十日 木曜

賞与金ヲ受ク

十二月十一日 金曜

金田教授来所

十二月十二日 土曜

無記事

十二月十四日 月曜

無記事

十二月十五日 火曜

無記事

十二月十六日 水曜

無記事

十二月十七日 木曜

金田教授来所

十二月十八日 金曜

無記事

十二月十九日 土曜

無記事

十二月二十一日 月曜

無記事（増俸辞令付）
受

十二月廿二日 火曜

無記事

十二月廿三日 水曜

無記事

十二月廿四日 木曜

金田教授来所

部内懇親会

十二月廿五日 金曜

休日

十二月廿六日 土曜

金田教授来所

有富筑太郎氏来所

十二月廿八日 月曜

岡部嘱託早引

午后三時ヨリ退庁

明日ヨリ来年一月二日迄休養

十二月廿九

〳三十日

〳三十一日

岡部氏宿直

〔昭和十八年〕

一月一日 金曜

午前九時半新年拝賀式挙行

原田・岡部嘱託参列

式後年始名刺交換会ニ出席

一月二日 土曜

原田嘱託宿直

一月三日 日曜

一月四日 月曜

御用始十一時半退庁

一月五日 火曜

新年宴会 休日

一月六日 水曜

無記事

一月七日 木曜

無記事

一月八日 金曜

午后三時半ヨリ大詔奉読式挙行

岡部嘱託欠勤

一月九日 土曜

無記事

一月十一日 月曜

金田教授来所

一月十二日 火曜

金田教授来所

一月十三日 水曜

長沼教授来所

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

一月十四日 木曜

肥前名護屋村 悠宛古記録目録送付

一月十五日 金曜日

無記事

一月十六日 土曜

無記事

一月十八日 月曜

無記事

一月十九日 火曜

大掃除ヲナス

有富筑太郎氏来所

一月二十日 水曜

金田教授来所

一月二十二日 木曜

無記事

一月二十三日 金曜

無記事

一月二十三日 土曜

無記事

一月二十四日 日曜

〔^{欄外}岡部囑託宿直〕

一月二十五日 月曜

無記事

一月二十六日 火曜

無記事 歌会

岡部囑託宿直

一月二十七日 水曜

無記事

原田囑託宿直

一月二十八日 木曜

無記事

一月二十九日 金曜

無記事

一月三十日 土曜

無記事

二月一日 月曜

無記事

二月二日 火曜

無記事

二月三日 水曜

無記事

二月四日 木曜

中山社会主事補来所

二月五日 金曜

無記事

二月六日 土曜

金田教授来所

二月八日 月曜

無記事

原田嘱託、故中島教授宅に明日葬儀ノ件ニ付手

伝ニ行ク

二月九日 火曜

無記事

二月十日 水曜

無記事

二月十一日 木曜

紀元節儀式

原田嘱託参列

二月十二日 金曜

無記事 金田教授来所

二月十三日 土曜

無記事

二月十五日 月曜

宮本助教授来所

三月十六日 火曜

無記事

三月十七日 水曜

無記事

三月十八日 木曜

岡部嘱託宿直

三月十九日 金曜

原田嘱託宿直

二月二十日 土曜

無記事

三月二十二日 月曜

無記事

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

二月二十三日 火曜

給料日

二月二十四日 水曜

無記事

二月二十五日 木曜

金田教授・宮本助教授来所

（鉛筆書）
（乙島より紙送り来ル）

二月廿六日 金曜

岡部嘱託欠勤

二月廿七日 土曜

金田教授来所

三月一日 月曜

無記事

三月二日 火曜

無記事

三月三日 水曜

本日より学期試験ニ付監督出動

三月四日 木曜

試験監督

三月五日 金曜

金田教授来所

三月六日 土曜

試験監督

三月八日 月曜

詔書奉読式○時十五分ヨリ挙行

白杵図書館へ借用書籍返送

三月九日 火曜

無記事

三月十日 水曜

試験監督

三月十一日 木曜

試験監督

白杵図書館ヨリ書籍送り来ル

三月十二日 金曜

白杵図書館宛借用証送ル

金田教授来所

三月十三日 土曜

岡部嘱託宿直

三月十五日 月曜

金田教授来所

原田囑託宿直

三月十六日 火曜

無記事

三月十七日 水曜

金田教授来所

有富氏来所

三月十八日 木曜

無記事

三月十九日 金曜

満洲医大入試監督

原田・岡部関係

三月二十日 土曜

無記事

三月廿二日 月曜

無記事

中山主事補来所

三月廿三日 火曜

満洲医大、大連高商ノ試験監督謝礼金ヲ受ク

金田教授来所

筆耕料値上ノ件沙汰アリ

三月廿四日 水曜

無記事

三月廿五日 木曜

特別賞与ノ辞令ヲ受ク

三月廿六日 金曜

鹿児島高商入学試験監督

東京文理大 国史科研究部視察ノ豫定ナリシモ来

ラズ

三月廿六日^七 土曜

無記事

三月廿九日 月曜

鹿児島高商ノ謝礼金ヲ受ク、賞与金受領

三月三十日 火曜

寒気強シ

三月三十一日 水曜

無記事

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

四月一日 木曜

借用図書大分図書館ニ返送

四月二日 金曜

有富筑太郎氏来所

宇佐町北崎氏ヨリ借用書類返却方照会状来ル

四月三日 土曜

神武天皇祭ニツキ休日

四月五日 月曜

宇佐町北崎外一氏宛借用書類返戻

四月六日 火曜

豫テ警戒警報発令、本日ヨリ宿直二人宛相勤

四月七日 水曜

原田囑託欠勤

金田教授来所

〔欄外〕
「岡部宿直」

四月八日 木曜

詔書奉読式〇時二十分挙行

四月九日 金曜

無記事

四月十日 土曜

金田教授来所

岡部囑託辞意表明

四月十二日 月曜

岡部囑託出勤

四月十三日 火曜

岡部囑託欠勤

〔欄外〕
「製本用書籍整理」

四月十四日 水曜

岡部囑託出勤

金田教授来所

製本用書類図書館ニ送ル

原田囑託宿直

〔欄外〕
「製本用書類整理」

四月十五日 木曜

岡部氏出勤

四月十六日 金曜

無記事

四月十七日 土曜

無記事

四月十九日 月曜

無記事

四月廿日 火曜

岡部氏退職発令十四日付、挨拶ノ為来所

白杵文書到着

四月二十二日 水曜

宇佐町小山田貞幹宛借用図書返還

四月二十三日 木曜

岡部氏来所

四月廿四日 土曜

靖国神社臨時大祭ニ付休業

午前十時工学部運動場ニ於テ遥拝式アリ、出席

四月廿六日 月曜

無記事

四月廿七日 火曜

々

四月廿八日 水曜

々

四月廿九日 木曜

天長節

四月三十日

金曜

宇佐町小山田家図書鉄道便ニテ返還

原田囑託宿直

五月一日 土曜

無記事

五月三日 月曜

々

五月四日 火曜

々

五月五日 水曜

々

五月六日 木曜

五月七日

金田教授来所

五月七日 金曜

無記事

〔金田教授来所〕

五月八日 土曜

無記事

五月九日 日曜

原田宿直

熊本縣借用図書、金田教授持参返還

五月十日 月曜

無記事

五月十一日 火曜

本学創立記念日ニ付午前九時ヨリ記念式挙行、

式後引取

〔^{（欄外）}明石氏本日ヨリ来所〕

五月十二日 水曜

明石氏出来所

五月十三日 木曜

昨晚警戒警報発令、引続キ発令中

五月十四日 金曜

無記事

五月十五日 土曜

明石氏来所

五月十七日 月曜

原田囑託欠勤

五月十八日 火曜

金田教授来所

佐賀藩ノ古記録預ル

五月十九日 水曜

原田囑託欠勤

五月廿日 木曜

無記事

五月廿一日 金曜

無記事

五月廿二日 土曜

午前八時ヨリ運動場ニ於テ、青少年学徒下賜ノ

勅語奉読式挙行ニ付参列

其後体育大会開催

五月廿三日 月曜

無記事

五月廿五日 火曜

五月廿五日 火曜

明石氏来所

五月廿七日 木曜

明石氏来所

五月廿八日 金曜

五月廿九日 土曜

金田教授来所

五月卅一日 月曜

明石氏来所

六月一日 火曜

無記事

六月二日 水曜

原田囑託欠勤

明石氏来所

六月三日 木曜

明石氏来所

六月四日 金曜

無記事

六月五日 土曜

全

六月七日 月曜

全

六月八日 火曜

明石氏来所

六月九日 水曜

明石氏来所

六月十日 木曜

小林講師母堂葬式ニ付聖福寺ニ其助勢トシテ午

后三時半頃ヨリ出ル

六月十一日 金曜

明石氏来所

金田教授来所

六月十二日 土曜

無記事

六月十四日 月曜

無記事

六月十五日 火曜

大学勤勞奉仕作業トシテ麦收穫ノ手助、原田囑託多々良村ニ出張

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

六
五月十六日 水曜

明石氏来所

六
五月十七日 木曜

全

六月十八日 金曜

全

六月十九日 土曜

全

六月二十一日 月曜

全

六月廿二日 火曜

明石氏来所

六月廿三日 水曜

全

六月廿四日 木曜

全

六月廿五日 金曜

無記事
全

六月廿六日 土曜

全

六
七月廿八日 月曜

中野主任来所

明石氏来所

六月廿九日 火曜

明石氏来所

六月三十日 水曜

北條氏当所係ニ囑託、午後ヨリ出勤

七月一日 木曜

原田囑託宿直

金田教授来所

七月二日 金曜

明石氏来所

七月三日 土曜

無記事

五
七月四日 月曜

明石氏来所

七月六日 火曜

全

〔欄外〕
「賞与金受領」

七月七日 水曜

原田囑託早引

七月八日 木曜

金田教授来所

七月九日 金曜

明石氏来所

七月十日 土曜

無記事

七月十二日 月曜

勤労作業学生職員校庭草取

七月十三日 火曜

金田教授来所

七月十四日 水曜

無記事

原田囑託宿直

七月十五日 木曜

明石氏来所

北條囑託宿直

七月十六日 金曜

七月十七日 土曜

原田囑託忌引

七月十九日 月曜

七月二十日 火曜

金田教授来所

岡部庄作氏来所

七月二十一日 水曜

金田教授来所

七月二十二日 木曜

七月二十三日 金曜

給料受取

金田教授来所

七月二十四日 土曜

七月二十五日 日曜

北條囑託宿直

七月二十六日 月曜

七月二十七日 火曜

交代ニテ半休

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

七月二十八日 水曜

金田教授来所

中村隆則氏来所

七月二十九日 木曜

金田教授来所

七月三十日 金曜

中村隆則氏就職発令

八月一日 土曜

中村隆則本日ヨリ出勤

北條氏演習室係ヲ命ゼラル

榊原氏退職ニ付送別昼餐会開催、原田、北條氏

参加

八月二日 月曜

中村隆則点呼練習ノ為早引

八月三日 火曜

中村隆則前日同様早引

八月四日 水曜

中村隆則簡閲点呼ニツキ欠勤

北條雇早引（右二付）

原田囑託宿直

柳原氏来所

八月五日 木曜

八月六日 金曜

金田教授来所

中村雇宿直

八月七日 土曜

無記事

八月八日^九 月曜

北條雇（早引）

八月十日 火曜

無記事

八月十一日 水曜

無記事 水曜

八月十二日 木曜

々

八月十三日 金曜

北條雇欠勤

八月十四日 土曜

北條、中村両雇欠勤

八月十五日^六 月曜

無記事

八月十七日 火曜

無記事

八月十八日 水曜

々

金田教授来所

八月十九日 木曜

台北大学助教授小葉田淳氏来所

八月廿日 金曜

八月廿一日 土曜

八月廿三日 月曜

金田教授来所之由

八月廿四日 火曜

北條雇本日ヨリ演習室ニ

明石氏久シ振りニ来所

八月廿五日 水曜

無記事

八月廿六日 木曜

全

〔^{（欄外）}中村雇早引〕

八月廿七日

金曜

金田教授来所

八月廿八日

土曜

中村雇宿直

八月廿九日

日曜

原田囑託宿直

八月三十日

月曜

中村雇欠勤

原田囑託療養費支給申請書提出

八月三十一日 火曜

原田囑託欠勤

九月一日 水曜

無記事

警戒警報発令ニ付原田囑託宿直

九月二日 木曜

（中村雇早引）

九月三日 金曜

○時半警報解除

中村雇欠勤

金田教授来所

九月四日 土曜

無記事

〔欄外〕九月五日 日曜

〔欄外〕中村雇宿直

九月六日 月曜

無記事

九月七日 火曜

無記事

九月八日 水曜

○時ヨリ詔書奉読挙行

九月九日 木曜

金田教授来所

九月十日 金曜

無記事

九月十一日 土曜

ク

九月十三日 月曜

金田教授来所

九月十四日 火曜

無記事

九月十五日 水曜

無記事

九月十六日 木曜

原田囑託欠勤

九月十七日 金曜

北條雇欠勤

〔欄外〕中村雇宿直

九月十八日 金曜

九月廿日 月曜

暖煙用パイプ切断工事

一時文■科研究室ニ移転

九月廿一日 火曜

原田囑託・北條雇、雁の巣勤労作業ニ参加

九月廿二日 水曜

原田囑託宿直、中村雇勤勞作業出勤

〔欄外〕金田教授来所

九月廿三日 木曜

山口高商吉川秀造氏来所

宮本助教授来所

九月廿四日 金曜

秋季皇靈祭

九月廿五日 土曜

勤勞作業出勤、原田囑託・中村雇

九月廿七日 月曜

原田囑託前同様出勤

九月廿八日 火曜

無記事

九月廿九日 水曜

無記事

九月三十日 木曜

療養請求書再提出

金田教授来所

十月一日 金曜

無記事

十月二日 土曜

〃

十月四日 月曜

十月五日 火曜

午后四時分学部長訓辞

十月六日 水曜

金田教授来所

十月七日 木曜

無記事

十月八日 金曜

午前八時四十分ヨリ詔書奉読式及軍事救護二関

スル講話アリ

金田教授来所

宮本助教授来所

北條雇宿直

十月九日 土曜

本日ヨリ土曜半休廢止

中村雇 宿直

北條雇 宿直

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

金田教授・宮本助教授来所

十月十一日 月曜

原田囑託十三日迄、金田教授随伴大分縣ニ出張

十月十二日 火曜

十月十三日 水曜

原田囑託帰校

十月十四日 木曜

鹿児島図書館ヨリ記録三冊送り来ル

十月十五日 金曜

金田教授・宮本助教授来所

鹿児島図書館ニ借用証送ル

十月十六日 土曜

靖國神社大祭ニ付臨時休業

午前十時遙拜式

十月十七日 日曜

十月十八日 月曜

金田教授来所

十月十九日 火曜

福高玉泉教授来所

〔欄外〕（ママ）
「出征学途の壮行式」

十月二十日 水曜

金田教授来所

十月廿一日 木曜

中村雇欠勤

十月廿二日 金曜

北條雇欠勤

金田教授・宮本助教授来所

十月廿三日 土曜

中村雇欠勤

宮本助教授来所

長崎図書館ニ借用証の一部取消方照会

十月廿五日 月曜

奈良女高師岡島教授来所

小林栄三郎助教授案内

中村雇欠勤

中野主任来所

十月廿六日 火曜

中村雇欠勤

十月廿七日 水曜

京大黒正教授其他随伴来校

金田教授来所

十月廿八日 木曜

中村雇欠勤

十月廿九日 金曜

北條雇欠勤

十月三十日 土曜

北條雇宿直

十一月一日 月曜

無記事

十一月二日 火曜

原田囑託欠勤

十一月三日 水曜

明治節

十一月四日 木曜

金田教授来所

十一月五日 金曜

大分縣國東町河野清実氏宛借用図書返送

旧島原藩庁記事抜書 一冊

十一月六日 土曜

無記事

十一月七日 月曜

無記事

十一月九日 火曜

無記事

十一月十日 水曜

中村雇欠勤

十一月十一日 木曜

無記事

十一月十二日 金曜

々

十一月十三日 土曜

金田教授来所

十一月十五日 月曜

十一月十六日 火曜

金田教授来所

中村雇欠勤

十一月十七日 水曜

金田教授来所

北條雇欠勤

中村雇早引

十一月十八日 木

十一月十九日 金

両日共中村雇欠勤

十一月二十日 土

中村雇欠勤、祖父死去忌引

十一月廿二日 月曜

金田教授来所

十一月廿三日 火曜

十一月廿四日 水曜

中村雇欠勤

十一月廿五日 木曜

北條雇欠勤

中村雇欠勤

金田教授来所

十一月廿六日 金曜

十一月廿七日 土曜

金田教授、宮本助教授来所

十一月廿八日 日曜

金田教授・宮本助教授・原田囑託・北條雇・明

石氏五名、日田廣瀬家蔵書視察ノ為メ出向ク

十一月廿九日 月曜

金田教授・宮本助教授来所

十一月三十日 火曜

原田囑託宿直

長崎図書館ニ宛借覧料ノ件ニツキ問合

十二月一日 水曜

中村雇早引

金田教授来所

十二月二日 木曜

無記事

十二月三日 金曜

金田教授来所

十二月四日 土曜

金田教授来所

中村雇欠勤

十二月六日 月曜

無記事

〔年末賞与発令〕
〔欄外〕

十二月七日 火曜

北條雇欠勤

中村雇宿直

十二月八日 水曜

原田囑託■早引

十二月九日 木曜

無記事

十二月十日 金曜

中村雇欠勤

宮本助教授来所

十二月十一日 土曜

中村雇祖父葬儀ニ付午後会葬

十二月十三日 月曜

無記事

十二月十四日 火曜

無記事

十二月十五日 水曜

無記事

〔中村雇宿直〕
〔欄外〕

十二月十六日 木曜

中村雇早引

北條雇欠勤

十二月十七日 金曜

中村・北條雇欠勤

十二月十八日 土曜

無記事

十二月二十日 月曜

原田囑託宿直

十二月二十一日 火曜

金田教授・宮本助教授来所

十二月二十二日 水曜

中村雇欠勤

宇佐町並■氏宛借用図書返送
〔松力〕

十二月二十三日 木曜

無記事

午前九時半拝賀式挙行

十二月二十四日 金曜

^(一)二日 日曜
原田囑託参列

十二月二十五日 土曜

^(一)三日 月曜

大正天皇祭

十二月二十七日 月曜

^(一)四日 火曜
休日

十二月二十八日 火曜

^(一)五日 水曜
御用始

金田教授来所

十二月廿九日 水曜

^(一)六日 木曜
休日

午后五時恵愛園食堂ノ学部長ノ招宴ニ原田囑

託・中村雇出席

^(一)七日 金曜
無記事

北條欠勤

十二月三十日 木曜

^(一)八日 土曜
午後菊池学部長来所

原田囑託・中村雇出勤

十二月三十一日 金曜

^(一)九日 月曜
中村雇宿直

原田囑託出勤

^(一)十日 月曜
北條雇宿直

〔昭和十九年〕

昭和十九年

一月一日 土曜

金田・宮本両教官来所
竹岡教授来所

〔欄外〕
「宇佐ニ鉄道便送出ス」

十一月 火曜

中村雇欠勤

十二月 水曜

原田囑託宿直

十二月 木曜

十二月 金曜

〔鉛筆書〕
「藩政地図書受」

十二月 土曜

防空演習ノ件ニ付会議アリ、原田囑託出席

十二月 月曜

金田教授来所

十二月 火曜

午后三時半ヨリ防空演習

十二月 水曜

〔鉛筆書〕
「第二回受」

午后三時十分ヨリ防空演習

〃 四時半終了

十二月 木曜

午后二時ヨリ防空演習

〃 三時半終了

十二月 金曜

午后四時ヨリ学部長ノ訓辞、大会議室ニ事務員

全部集合

十二月 土曜

防空演習午后一時半、三時終了

十二月 月曜

防空演習午后三時半ヨリ

救護法ノ指導アリ

十二月 火曜

無記事

〔欄外〕
「北條雇欠勤」

十二月 水曜

午前九時ヨリ防空演習アリ

十時半終了

金田教授来所

十二月 木曜

無記事

九州文化史研究所『日誌』（昭和十四年四月～十九年二月）について

二月十八日 金曜

中村雇早引

〔欄外〕
金田教授来所

二月十九日 土曜

無記事

二月三十日 月曜

無記事

二月一日 火曜

無記事

二月二日 水曜

二月三日 木曜

原田囑託宿直

二月四日 金曜

金田教授来所

二月五日 土曜

北條雇・中村雇欠勤

長沼元教授来所

二月六日 月曜

無記事

二月八日 火曜

午后一時ヨリ詔書奉読式

二月九日 水曜

北条・中村雇欠勤

二月十日 木曜

原田囑託退職発令セラル

北条・中村雇欠勤